

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020301010100		事業の種類	4		
年度	2	事務事業名	敬老事業		予算事業名	敬老事業		
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
		施策名(中)	高齢者の生きがいづくりと社会参加を推進する		担当課長	丸山 由紀子	担当者名	川戸 沙紀
		取組み事項	生きがいづくりを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市百歳翁(媪)敬彰要綱、相生市敬老祝金支給要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	最高齢者、最高齢夫婦、百歳到達者、9月15日現在で77歳(喜寿)を迎えた市民、80歳到達者						
	誰(何)を対象として	長寿を祝福する						
	意図(どのような状態にしたいのか)	生きがいを感じてもらう						

2 事業の概要 Do

実施の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・市の最高齢者及び最高齢夫婦を祝福。9月に市長訪問、祝品の贈呈(初年度のみ) ・百歳到達者を祝福(市長訪問、祝金贈呈) ・80歳到達者記念写真撮影 ・9月15日現在77歳(喜寿)を迎えた方に祝金を支給 				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	最高齢者、最高齢夫婦祝福	件	1	1	1	
	百歳到達者祝福	件	11	21	14	
	77歳(喜寿)祝福	件	455	438	431	
	80歳到達者記念写真	件	217	240	258	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.272	0.176	65	0.320	182		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	2,391,788	1,675,349	70	2,537,320	151		
	事業費	5,942,926	6,213,769	105	5,970,830	96		
	合計	8,334,714	7,889,118	95	8,508,150	108		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他	5,942,926	6,213,769	105	5,970,830	96		
	一般財源	2,391,788	1,675,349	70	2,537,320	151		
	合計	8,334,714	7,889,118	95	8,508,150	108		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		80歳到達者記念写真撮影者数						
指標説明(式)		80歳到達者記念写真撮影者数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
人	目標	350	315	90.0	351	111.4	0.0	
	実績	217	240	110.6	258	107.5		
指標名2		喜寿祝支給件数						
指標説明(式)		喜寿(77歳)祝支給件数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
人	目標	470	450	95.7	437	97.1		
	実績	456	438	96.1	431	98.4		

【効率性】

指標名1		祝福1件当たりの事業費コスト							
指標説明(式)		事業費/延件数(実績)							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	8097	8554	105.6	8112	94.8			
	実績	8676	8877	102.3	8481	95.5			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	核家族化や地域共同体の希薄化等により、長寿を祝ってもらう機会のない高齢者も増加している。行政が祝福する意義はあると考える。	3
	上位施策への貢献度	敬老事業の機会に高齢者の在住確認が出来る。	
効率性	コストの節減	H17の88歳(米寿)の支給の廃止、H18の99歳(白寿)の支給廃止により、支給コストは低減したが、80歳到達記念写真の復活により増。H29年度において、77歳の祝品の削減、100歳の祝金の減額をおこなった。	4
	手段の最適性	市長が訪問し直接祝うなど、敬老の思いを感じてもらっている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	80歳到達者記念写真の実績が対象者の約7割となっている。内容を検討していく必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	80歳到達記念写真について、実施方法及び内容を引き続き検討する。

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020301010200		事業の種類	4		
年度	2	事務事業名	高齢者教育事業		予算事業名	高齢者教育事業		
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課		
		施策名(中)	高齢者の生きがいがづくりと社会参加を推進する		担当課長	桑名 雅彦	担当者名	山本 健太
		取組み事項	生きがいがづくりを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	概ね満60歳以上の市民						
	誰(何)を対象として	概ね満60歳以上の市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者の生涯学習を行うことで、生きがいをもって自立した生活が送れる						

2 事業の概要 Do

実施の概要		金ヶ崎学園大学の開設				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	金ヶ崎学園大学	回数	14	12	0	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.116	0.116	100	0.148	128	
	臨時職員	0.440	0.440	100	0.357	81	
支出内訳	人件費	2,450,444	2,353,949	96	2,355,604	100	
	事業費	1,164,020	1,180,140	101	126,625	11	
	合計	3,614,464	3,534,089	98	2,482,229	70	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他	1,403,000	1,316,000	94	0	0	
	一般財源	2,211,464	2,218,089	100	2,482,229	112	
合計	3,614,464	3,534,089	98	2,482,229	70		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		金ヶ崎学園大学学園生						
指標説明(式)		学園生人数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
人数	目標	550	550	100.0	550	100.0	0.0	
	実績	480	447	93.1	0	0.0		
指標名2		金ヶ崎学園大学年間延参加者数						
指標説明(式)		年間延参加者数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
人数	目標	8000	8000	100.0	8000	100.0		
	実績	6600	5731	86.8	0	0.0		

【効率性】

指標名1		1回当たり単位コスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷開設回数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	275816	272560	98.8	248025	91.0			
	実績	258176	294507	114.1	0	0.0			

指標名2		学園生一人当たりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷学園生人数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	7020	6937	98.8	6313	91.0			
	実績	7530	7906	105.0	0	0.0			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	幅広い講座を開催するために、令和3年度より新たに社会教育の講座の枠をつかった。	3
効率性	コストの節減	参加募集チラシは庁内印刷にするなどコストの節減に努めている。	3
	手段の最適性	講座後に謝礼を現金で渡しているものを一律口座振り込みにすることで、事務の簡素化を図る。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定どおり	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	学習を通して地域のリーダーとして活躍いただけるような意識付けを行う。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	市民ニーズに応えるため、参加しやすい日程で開講している。

配点	32.5
総合評価	19.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020301020100		事業の種類	5	
年度	2	事務事業名	高年クラブ等社会活動促進事業		予算事業名	高年クラブ等社会活動促進事業 優先度 3	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室	
		施策名(中)	高齢者の生きがいがづくりと社会参加を推進する		担当課長	丸山 由紀子	担当者名 杉本 裕美
		取組み事項	社会参加と交流を促進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		老人福祉法 在宅福祉事業費補助金交付要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市高年クラブ連合会及び各単位高年クラブ					
	誰(何)を対象として	相生市高年クラブ連合会及び各単位高年クラブ					
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者の教養の向上、健康増進及び生きがいがづくりを目的に結成された団体である高年クラブに、活動促進のための補助を行い、高年クラブの目的達成を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		高年クラブ連合会…連合会の広報活動、交通安全活動、一人暮らし等への声かけ運動、清掃奉仕活動費等への補助、健康づくり活動や文化教養活動の実施委託を行っている。 単位クラブ…清掃活動、友愛訪問、健康づくり活動、子育て相談等の事業に対する補助。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	助成対象単位クラブ数	クラブ	20	20	20	
	助成対象クラブ会員数	人	977	942	885	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.236	0.164	69	0.244	149	
	臨時職員			-		-	
支出内訳	人件費	2,124,164	1,586,669	75	2,022,800	127	
	事業費	2,970,817	2,958,335	100	2,951,795	100	
	合計	5,094,981	4,545,004	89	4,974,595	109	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金	1,255,000	1,253,000	100	1,251,000	100	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	3,839,981	3,292,004	86	3,723,595	113	
合計	5,094,981	4,545,004	89	4,974,595	109		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		助成対象単位クラブ数						
指標説明(式)		助成対象単位クラブ数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
クラブ	目標	20	20	100.0	20	100.0	0.0	
	実績	20	20	100.0	20	100.0		
指標名2		助成対象クラブ会員数						
指標説明(式)		助成対象クラブ会員数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
人	目標	977	942	96.4	885	93.9		
	実績	977	942	96.4	885	93.9		

【効率性】

指標名1		クラブ会員一人あたりの費用							
指標説明(式)		事業費/クラブ会員数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	3127	3245	103.8	3439	106.0			
	実績	3040	3140	103.3	3335	106.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	令和2年度はコロナ禍で活動継続が難しい中、感染防止に気を配りながら、映画大会、屋外でのグラウンドゴルフを行うなど、創意工夫を図りながら閉じこもり防止や地域のつながりを維持することに努めた。	4
	市民サービス	高年クラブの活動強化により集いの場や助け合いのつながりが増加し(令和2年度 生き百の新規立ち上げあり)地域の共助力が向上し、地域住民の福祉向上が期待できる。	
効率性	手段の最適性	コロナの感染状況などに気を配りながら活動内容を適宜見直し、高年クラブの魅力アップを図り新規会員の増加を図る必要がある。	4
	執行体制の効率性	事業計画等の作成により、広く会員の意見が反映される仕組みづくりが必要。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画よりも遅れている	2

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	会員数が年々減少傾向にあり、高年クラブ未加入者に対して新しい取り組みを行い、加入促進を図る必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	高年クラブの未加入の方向けに、高年クラブ紹介DVD作成、SNSを使った魅力発信を行い加入促進につなげたい。

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010100		事業の種類	7	
年度	2	事務事業名	老人福祉施設整備事業	予算事業名	老人福祉施設整備事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	丸山 由紀子	担当者名	片山 誠之
取組み事項		介護サービスを充実する		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無
実施計画事業名		老人福祉施設整備補助事業		椿の園煙突撤去			
根拠法規及び関連法規		相生市各種補助金等交付規則・相生市社会福祉法人の助成に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の老人福祉施設・市内高齢者					
	誰(何)を対象として	市内の老人福祉施設・市内高齢者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	第7期介護保健事業計画を実現し、地域の高齢者が住み慣れた地域で生活継続できるよう、質の高い介護サービス基盤の整備を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		老人福祉施設事業者に対し、施設整備等に係る補助金を交付する。 市立の老人福祉施設の入所者の安全安心の生活を確保するため適切な施設の維持を図る。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	認知症対応型グループホーム	件	0	0	0	
	椿の園・耐震診断	件	0	1	0	
	愛老園・エレベーター改修等	件	0	1	0	
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	件	1	0	0	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.112	0.109	97	0.112	103		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	1,202,348	1,180,219	98	1,129,160	96		
	事業費	11,093,220	26,550,400	239	0	0		
	合計	12,295,568	27,730,619	226	1,129,160	4		
財源内訳	国庫支出金	10,300,000		0		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	1,995,568	27,730,619	1,390	1,129,160	4		
合計	12,295,568	27,730,619	226	1,129,160	4			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		地域密着型(介護予防)サービス事業所の整備数(第7期)						
指標説明(式)		地域密着型サービス事業所の整備件数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
箇所	目標	1	0	0.0	0	-		-
	実績	1	0	0.0	0	-		-
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

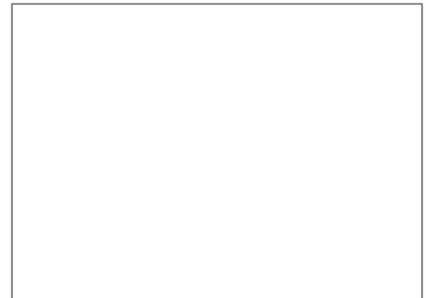
指標名1		市以外の財源の割合							
指標説明(式)		国・県の補助金／総事業費×100							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
%	目標	100	0	0.0	0	-			
	実績	100	0	0.0	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	グループホームは、29年度に開設。30年度に定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の整備完了。令和元年度には、愛老園のエレベーター改修工事及び椿の園の耐震診断を実施。	3
効率性	負担割合の適正化	国(県)の助成制度により、地域密着型に関する補助率は10/10であるため、市の事業費は事務費・人件費のみである。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	椿の園の耐震診断により、安全性の確認がとれた。耐震診断により、煙突撤去の必要性が指摘されており、今後撤去工事を計画していく必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	全庁的な施設整備(修繕等)計画が必要。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010200		事業の種類	1	
年度	2	事務事業名	介護保険総務管理事務		予算事業名	介護保険事業ほか 優先度 3	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室	
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	丸山 由紀子 担当者名 片山 誠之	
		取組み事項	介護サービスを充実する		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無	
実施計画事業名		高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定					
根拠法規及び関連法規		介護保険法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	介護を必要とする高齢者等					
	誰(何)を対象として	支援を必要とする高齢者及び要介護認定者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護保険制度を適正に実施していく					

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護保険制度を適正に実施していくため、必要なシステム改修などの総務管理を行う。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	事業費	円	14014870	11540154	15478337	

3 投入資源

		会計区分	介護保険特別会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.152	0.192	126	0.200	104		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	1,499,708	1,793,589	120	1,724,920	96		
	事業費	14,014,870	11,540,154	82	15,478,337	134		
	合計	15,514,578	13,333,743	86	17,203,257	129		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	15,514,578	13,333,743	86	17,203,257	129		
	合計	15,514,578	13,333,743	86	17,203,257	129		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	

【効率性】

指標名1		高齢者1人当たりの事業費							
指標説明(式)		総事業費／年度末時の高齢者(65歳以上)人口 15478337÷10284=1505							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	1477	1339	90.7	1326	99.0			
	実績	1492	1114	74.7	1505	135.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	介護保険制度を適正に実施していくため、必要なシステム改修などの総務管理を行っている。	3
効率性	執行体制の効率性	長期継続契約の導入や、バーコード入りの宛名を使用することにより郵送代の削減等、費用の抑制に努めた。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	介護保険制度を適正に実施していくため、必要なシステム改修などの総務管理を行っていく必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	介護保険制度を適正に実施していくため、必要なシステム改修などを行う。

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010300		事業の種類	1	
年度	2	事務事業名	介護保険料賦課事業		予算事業名	介護保険事業	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室	
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	丸山 由紀子	担当者名 藤田 達郎
		取組み事項	介護サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		介護保険法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の市民					
	誰(何)を対象として	65歳以上の市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な保険料賦課					

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護保険料の賦課、通知を行う。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	保険料賦課人数	人	10365	10324	10247	

3 投入資源

		会計区分	介護保険特別会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.276	0.456	165	0.340	75		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	2,421,524	3,744,549	155	2,672,720	71		
	事業費	858,444	857,843	100	862,099	100		
	合計	3,279,968	4,602,392	140	3,534,819	77		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	3,279,968	4,602,392	140	3,534,819	77		
合計	3,279,968	4,602,392	140	3,534,819	77			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		高齢化率						
指標説明(式)		高齢者人口/相生市人口						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
%	目標	35	35	100.0	35	100.0		0.0
	実績	34.95	35.56	101.7	35.90	101.0		
指標名2		保険料(普通徴収)徴収率						
指標説明(式)		普通徴収収納額/普通徴収調定額						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0		
	実績	92.66	92.21	99.5	94.53	102.5		

【効率性】

指標名1		保険料賦課状況(一人当たりの事業費)							
指標説明(式)		事業費/保険料賦課人員							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	90	90	100.0	90	100.0			
	実績	83	83	100.0	84	101.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	納入通知書送付時に文書を同封することにより、保険料算定方法等について周知を行った。また、納付書納付の人には、給付制限に関するチラシを同封することにより、徴収率の向上を目指した。	5
	組織運営・適正管理	適正・確実に賦課を行った。	
効率性	手段の最適性	65歳到達時の保険証発送時に口座振替の依頼書を同封して、口座振替利用者の増加を目指した。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	保険料の徴収率を上げることが課題である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	保険料や被保険者証送付時のチラシを改善し、保険料の利用目的や制度の周知を図ることにより納付意識を高め、徴収率の向上を目指す。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010400		事業の種類	1	
年度	2	事務事業名	介護認定審査会事業	予算事業名	介護保険事業	優先度	3
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する	担当課長	丸山 由紀子	担当者名	村上 香澄
		取組み事項	介護サービスを充実する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
		実施計画事業名					
		根拠法規及び関連法規	介護保険法				
事業の目的	誰のために(具体的に)	介護を必要とする高齢者等					
	誰(何)を対象として	介護を必要とする高齢者等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護認定審査の適正な実施					

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護保険認定審査会を開催し、要介護判定を行い、要介護認定結果を通知する。					
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績		
	要介護認定審査件数	件	1481	1660	1505		

3 投入資源

		会計区分	介護保険特別会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.502	0.403	80	0.796	198		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	4,101,608	3,352,879	82	5,759,840	172		
	事業費	2,452,000	2,463,500	100	2,510,340	102		
	合計	6,553,608	5,816,379	89	8,270,180	142		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	6,553,608	5,816,379	89	8,270,180	142		
	合計	6,553,608	5,816,379	89	8,270,180	142		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		平均介護認定事務処理日数							
指標説明(式)		延べ介護認定事務処理日数/認定審査件数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		前年比	備考
日	目標	30	30	100.0	30	100.0		0.0	
	実績	31	34	109.7	30	88.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

【効率性】

指標名1		認定審査状況(1件当たりの審査費)							
指標説明(式)		(目)介護認定審査会費/審査件数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	1667	1648	98.9	1552	94.2			
	実績	1655	1484	89.7	1668	112.4			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	申請から認定までの業務を概ね適正に処理できている。処理日数が目標日数をこえたケースもあるため処理方法など今後も検討が必要。	4
	成果の向上	申請時期や適正な申請について適宜窓口での案内を行っている。	
効率性	執行体制の効率性	年2回合同審査会を開催し、合議体毎の審査基準の平準化を図っている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	介護認定の適正化。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	厚生労働省の訪問による技術指導を受け、審査会の適正化とスキルアップを図る。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010500		事業の種類	1	
年度	2	事務事業名	認定調査事業		予算事業名	介護保険事業	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	丸山 由紀子	担当者名	村上 香澄
取組み事項		介護サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		介護保険法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	介護を必要とする高齢者等					
	誰(何)を対象として	介護を必要とする高齢者等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護認定調査の適正な実施					

2 事業の概要 Do

実施の概要		要介護認定申請を受け、要介護認定調査を実施する				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	介護認定調査員	人	9	8	9	
	要介護認定調査	件	1560	1695	1,533	

3 投入資源

		会計区分 介護保険特別会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.040	0.140	350	0.600	429	
	臨時職員	3.078	2.869	93	2.827	99	
支出内訳	人件費	9,190,082	8,725,259	95	12,214,885	140	
	事業費	12,911,172	14,209,488	110	13,584,454	96	
	合計	22,101,254	22,934,747	104	25,799,339	112	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	22,101,254	22,934,747	104	25,799,339	112	
合計	22,101,254	22,934,747	104	25,799,339	112		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		介護認定調査件数						
指標説明(式)		介護認定調査件数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
件	目標	1600	1698	106.1	1777	104.7	0.0	
	実績	1560	1695	108.7	1533	90.4		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		認定調査状況(1件当たりの調査費)							
指標説明(式)		(目)認定調査等費/調査件数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	10573	8900	84.2	8784	98.7			
	実績	8276	8383	101.3	8861	105.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	申請から調査までの業務を概ね適正に処理出来ている。 人員確保により処理日数の短縮が図れている。	4
	成果の向上	新人調査員の研修受講、月一回の会議において注意事項の確認、調査員間での内容確認作業の実施等により、より適正な調査となっている。	
効率性	執行体制の効率性	平成28年度に引き続き、調査員の確保により調査の体制は安定していた。	3
	コストの節減	平成29年度より実施している総合事業において、認定を受けなくても簡単なチェックリストのみでサービスを受けれる仕組みにしたことにより、認定件数の削減につながった。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	状態が安定していない等、調査時期が適切でないケースがあった。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	認定調査員自らが、調査結果の点検を行い、適切な認定調査に努め、調査員のスキルアップを図る。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010600	事業の種類	1		
年度	2	事務事業名	介護保険給付事務	予算事業名	介護保険事業ほか	優先度	3
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する	担当課長	丸山 由紀子	担当者名	中本 光早子
		取組み事項	介護サービスを充実する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		介護保険法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	介護サービス利用者					
	誰(何)を対象として	介護サービス利用者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	要介護、要支援状態となった者が有する能力に応じた、必要な介護サービスの利用					

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護保険給付情報を管理し、介護サービス費等を支給する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	認定者数	人	1733	1750	1787	
	保険給付費総額	円	2511431644	2566285554	2641509517	

3 投入資源

		会計区分	介護保険特別会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.435	0.488	112	0.316	65		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	3,603,530	3,981,029	110	2,510,240	63		
	事業費	2,511,431,644	2,566,285,554	102	2,641,509,517	103		
	合計	2,515,035,174	2,570,266,583	102	2,644,019,757	103		
財源内訳	国庫支出金	593,512,788	603,010,372	102	626,137,803	104		
	県支出金	377,917,000	377,194,076	100	387,674,500	103		
	市債			-		-		
	その他	1,226,072,901	1,243,647,895	101	1,260,342,905	101		
	一般財源	317,532,485	346,414,240	109	369,864,549	107		
	合計	2,515,035,174	2,570,266,583	102	2,644,019,757	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当たり保険給付費総額/年間						
指標説明(式)		保険給付費総額(=事業費)/認定者数(年度末)						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
円	目標	1381192	1331010	96.4	1310598	98.5		0.0
	実績	1449182	1466449	101.2	1478181	100.8		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		高齢者一人当たり事業費							
指標説明(式)		事業費総額／年度末時の高齢者人口							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	251887	257403	102.2	260487	101.2			
	実績	241646	247807	102.5	256856	103.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	要介護認定者、給付費とも事業計画の計画値の範囲内で推移しており、適正な制度管理を行っている。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	介護保険法に基づき適正な介護サービス費の支給を行った。	
効率性	コストの節減	要介護認定者数や事業費ともに増加傾向である。適正な介護サービスの利用を引き続き呼びかける必要がある。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりである。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	事業所への実施指導や監査、ケアプランチェック等の適正化を行い、介護給付費の適正化を図る。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	効率的な点検体制を構築し、給付費の適正化を図っていく。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010700		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	家族介護用品支給事業		予算事業名	家族介護用品支給事業 優先度 3	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室	
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	丸山 由紀子	担当者名 川戸 沙紀
		取組み事項	介護サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市家族介護用品支給事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅の寝たきりや認知症の高齢者を介護している家族					
	誰(何)を対象として	要介護4相当以上の寝たきりや認知症の高齢者を介護している市民税非課税世帯に該当する家族					
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護用品を支給し、当該介護者又は寝たきり高齢者等の精神的、経済的負担を軽減					

2 事業の概要 Do

実施の概要		紙おむつ尿取りパットの介護用品代を年10万円の範囲内で支給する。			
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績
	支給人数	人	10	12	11

3 投入資源

		会計区分	介護保険特別会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.052	0.032	62	0.024	75		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	756,308	611,189	81	533,400	87		
	事業費	653,201	675,800	103	579,813	86		
	合計	1,409,509	1,286,989	91	1,113,213	86		
財源内訳	国庫支出金	251,482	260,183	103	223,228	86	38.50%	
	県支出金	125,741	130,091	103	111,614	86	19.25%	
	市債			-		-		
	その他	150,236	155,434	103	133,357	86	23.00%	
	一般財源	882,050	741,281	84	645,014	87		
	合計	1,409,509	1,286,989	91	1,113,213	86		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		支給人数						
指標説明(式)		支給人数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
人	目標	10	12	120.0	13	108.3	0.0	
	実績	10	12	120.0	11	91.7		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		人数あたりのコスト							
指標説明(式)		事業費／支給人数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	100000	100000	100.0	100000	100.0			
	実績	65320	56317	86.2	52710	93.6			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	市民税非課税世帯の内、要介護4相当以上の寝たきり高齢者等を介護している世帯は多くないので、支給者数は少ない。	3
	上位施策への貢献度	在宅生活の維持が図られる事によって、高齢者にとって住み慣れた地域での生活継続が、市にとっては施設整備を抑制し保険料の軽減が図られる。	
効率性	手段の最適性	市が発行した給付券との引き換えにより納品する仕組みにより、不正受給の防止が図られている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	利用者が少ないため、実施について再検討が必要。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	さらなる周知を図る必要がある。

配点	32.5
総合評価	20.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010800		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	家族介護慰労金支給事業		予算事業名	家族介護慰労金支給事業 優先度 3	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室	
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	丸山 由紀子	担当者名 川戸 沙紀
		取組み事項	介護サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市家族介護慰労金支給事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	介護保険サービスを使わずに、在宅で寝たきり相当の高齢者を介護している家族					
	誰(何)を対象として	過去1年間介護保険給付のサービスを利用することなく(7日以内のショートステイは除く)要介護4相当以上の高齢者を介護している家族					
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者及び介護者に慰労金を支給することで介護にかかる精神的・経済的負担を軽減するとともに、家族介護が可能な家庭はできるだけそれを促すことで介護保険給付の軽減を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		家族介護慰労金年12万円支給する。			
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績
	支給人数	人	1	1	0

3 投入資源

		会計区分 介護保険特別会計			事業費単位:円			
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.016	0.013	81	0.124	954		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	488,684	470,779	96	1,210,400	257		
	事業費	120,000	120,000	100	0	0		
	合計	608,684	590,779	97	1,210,400	205		
財源内訳	国庫支出金	46,200	46,200	100	0	0		38.50%
	県支出金	23,100	23,100	100	0	0		19.25%
	市債			-		-		
	その他	27,600	27,600	100	0	0		23.00%
	一般財源	511,784	493,879	97	1,210,400	245		
	合計	608,684	590,779	97	1,210,400	205		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		支給人数						
指標説明(式)		支給人数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
人	目標	2	2	100.0	2	100.0	0.0	
	実績	1	1	100.0	0	0.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		人数あたりの事業コスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費)÷支給人数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	354564	350982	99.0	534636	152.3			
	実績	608684	590779	97.1	0	0.0			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	上位施策への貢献度	在宅生活の支えとなるほどの補助額を出せるわけでは無く、施設整備・保険料の抑制にまで効果があるかは判断が難しい。	2
	成果の向上	支給実績の向上を図る必要がある反面、慰労金を得るために必要な介護が疎かにならないよう配慮する必要がある。	
効率性	手段の最適性	家族介護を促進するために、介護保険サービスを利用しなかった期間(1年間)と医療機関への入院期間を勘案しているが、要介護4以上の者が1年間介護サービスを使わないケースはまれである。	2
	負担割合の適正化	介護保険給付外の医療系サービス利用者は制度上対象者となるが、家族介護への慰労という主旨から介護系デイサービス利用者等との公平性について検討の必要がある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	効率性について検討が困難である。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	制度利用者が少ない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	さらなる制度の周知を図る。

配点	32.5
総合評価	17.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010900		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	成年後見制度利用支援事業		予算事業名	成年後見制度利用支援事業 優先度 3	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室	
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	丸山 由紀子	担当者名 中本 光早子
		取組み事項	介護サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市成年後見制度利用支援事業実施要綱、相生市成年後見制度における市長による審判の請求に関する要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	法に規定する後見、保佐又は補助を必要とする状態にある方のうち、審判の請求をすべき親族等がない方					
	誰(何)を対象として	法に規定する後見、保佐又は補助を必要とする状態にある方のうち、審判の請求をすべき親族等がない方					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市長が審判の請求を家庭裁判所に行うとともに、成年後見人等に対する報酬の全部または一部を助成することにより、被成年後見人等の生活を支援する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		後見、保佐又は補助を必要とする状態にある方のうち、審判の請求をすべき親族等がない場合に、市長が審判の請求を家庭裁判所に行うとともに、成年後見人等に対する報酬の全部または一部を助成することにより、被成年後見人等の生活を支援する。					
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績		
	市長申立件数	件	0	4	1		

3 投入資源

		会計区分	介護保険特別会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.040	0.132	330	0.072	55		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	667,100	1,350,189	202	858,360	64		
	事業費	221,400	260,000	117	22,856	9		
	合計	888,500	1,610,189	181	881,216	55		
財源内訳	国庫支出金	85,239	100,100	117	8,799	9		
	県支出金	42,619	50,050	117	4,399	9		
	市債			-		-		
	その他	50,922	59,800	117	5,256	9		
	一般財源	709,720	1,400,239	197	862,762	62		
	合計	888,500	1,610,189	181	881,216	55		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市長申立件数						
指標説明(式)		市長申立件数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
件	目標	3	3	100.0	3	100.0	0.0	
	実績	0	4	-	1	25.0		
指標名2		成年後見人等報酬助成制度利用人数						
指標説明(式)		成年後見人等報酬助成制度利用人数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
人	目標	2	2	100.0	2	100.0		
	実績	1	1	100.0	0	0.0		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	報酬の全部または一部の助成を受けなければ後見等の利用が困難な者を保護する事もできる事業であり、必要である。	4
効率性	手段の最適性	助成の対象者の状況をよく把握し、制度の利用について検討する必要がある。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	市民へ制度の周知を行いながら、後見等の相談等に対応。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	成年後見制度の利用が必要な人を的確に把握し、対応する。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	成年後見制度の各関係機関の関わり方など、西播磨4市3町や西播磨成年後見支援センターと協力し、事業を行う必要がある。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302011000		事業の種類	1	
年度	2	事務事業名	介護給付費等費用適正化事業		予算事業名	介護給付費等費用適正化事業	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室	
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	丸山 由紀子	担当者名 中本 光早子
		取組み事項	介護サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な介護サービス提供体制の確保と介護サービスの質の向上					

2 事業の概要 Do

実施の概要		利用者がサービスを円滑に利用できるよう、要介護認定を適切に行い、サービス選択に対する支援、低所得者への支援を図る。必要な人に必要なサービスを提供するため、介護給付費等の適正化に取り組む。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	給付費通知	回	3	3	3	
	ケアプラン点検	件	14	36	39	
	要介護認定審査件数	件	1481	1660	1505	

3 投入資源

		会計区分	介護保険特別会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.202	0.260	129	0.301	116		
	臨時職員	1.420	1.719	121	1.549	90		
支出内訳	人件費	5,803,388	6,679,559	115	6,672,667	100		
	事業費	3,893,976	4,869,035	125	5,997,841	123		
	合計	9,697,364	11,548,594	119	12,670,508	110		
財源内訳	国庫支出金	1,499,181	1,874,578	125	2,309,168	123		
	県支出金	749,590	937,289	125	1,154,584	123		
	市債			-		-		
	その他	895,615	1,119,878	125	1,379,503	123		
	一般財源	6,552,978	7,616,849	116	7,827,253	103		
	合計	9,697,364	11,548,594	119	12,670,508	110		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		給付費通知1件当たりに対する給付費総額						
指標説明(式)		給付費総額/給付費通知発送料						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標	7565	7706	101.9	7393	95.9	0.0	
	実績	7617	7697	101.1	7844	101.9		
指標名2		平均介護認定事務処理日数						
指標説明(式)		延べ介護認定事務処理日数/認定審査件数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標	30	30	100.0	30	100.0		
	実績	30	30	100.0	30	100.0		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	自立支援型地域ケア会議において、ケアプランの内容も確認することにより、必要な人が必要なサービスを受けられるよう「自立支援」への意識を高め、ケアマネジメントの質の向上を図る。	4
	市民サービス	通知を送付することによって、実際の給付費がどれだけかかっているのかを確認してもらえ、給付費の抑制を促すことにつながっている。	
効率性	手段の最適性	介護保険制度について、実際に介護給付を受けている全ての対象者に対し通知を送付することで、制度の周知ができています。	4
	手段の最適性	平成30年度より、介護認定適正化調査員(パート)を採用し、職員の育成・スキルアップに取り組んでいる。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりである。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	介護認定適正化調査員だけでは、審査会業務をカバーすることができず、職員がフォローしている。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	効率的な点検体制を構築する必要がある。

配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302011100		事業の種類	5	
年度	2	事務事業名	訪問看護師・訪問介護員安全確保・離職防止対策事業		予算事業名	訪問看護師・訪問介護員安全確保・離職防止対策事業	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	丸山 由紀子	担当者名	片山 誠之
取組み事項		介護サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市訪問看護師・訪問介護員安全確保・離職防止対策事業補助金交付要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内事業所の訪問看護師及び訪問介護員					
	誰(何)を対象として	利用者等からの暴力行為などの対策として2人体制での訪問が必要となる場合					
	意図(どのような状態にしたいのか)	訪問時の安全確保					

2 事業の概要 Do

実施の概要		訪問看護師・訪問介護員がサービスを提供する際、利用者等からの暴力行為などの対策として2人体制での訪問が必要となるケースで、利用者及び家族等の同意が得られず、介護報酬上の2人訪問加算が適用できない場合に、加算相当額の一部を補助する。					
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績		
	訪問介護	回	0	0	0		
	訪問看護	回	0	0	0		
	予防訪問看護	回	0	0	0		

3 投入資源

		会計区分			一般会計		事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考		
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103			
	参事以下職員	0.016	0.016	100	0.016	100			
	臨時職員			-		-			
支出内訳	人件費	488,684	492,949	101	479,240	97			
	事業費	0	0	-	0	-			
	合計	488,684	492,949	101	479,240	97			
財源内訳	国庫支出金			-		-			
	県支出金		0	-		-			
	市債			-		-			
	その他			-		-			
	一般財源	488,684	492,949	101	479,240	97			
合計	488,684	492,949	101	479,240	97				

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		補助回数							
指標説明(式)		補助回数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考	
回	目標	0	48	-	48	100.0	0.0		
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	備考		
	目標			-		-			
	実績			-		-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	平成30年6月より事業開始。市内事業所へ事業の案内を送付。相生市のホームページにも掲載し、事業の啓発に努めた。	3
効率性	執行体制の効率性	実績はなかったが、潜在的なニーズはある。事業所にとって、必要があれば補助が受けれるという安心に繋がっている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	令和2年度は実績なし。潜在的なニーズはあるため、対象事業所へ制度の案内をしていく必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	介護報酬の単価に合わせるため、補助基準額の見直しを行う。

配点	32.5
総合評価	19.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302011200		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	在宅介護緊急対策事業		予算事業名	在宅介護緊急対策事業 優先度	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室	
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	丸山 由紀子	担当者名 片山 誠之
		取組み事項	介護サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市定期巡回サービス事業者参入促進事業補助金交付要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	24時間在宅サービスが必要な高齢者					
	誰(何)を対象として	定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスに新たに参入する事業者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	事業者の参入障壁となっている人件費の一部を助成し、利用者を一定確保するまでの安定運営を支援することで、多様な事業者の参入促進を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスに新たに参入する事業主体を対象に、事業者の参入障壁となっている人件費の一部を助成し、利用者を一定確保するまでの安定運営を支援することで、多様な事業者の参入促進を図る。					
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績		
	補助金額	円	750000	3300000	3300000		
	月末利用者数(延べ)	人	3	47	42		

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.020	0.028	140	0.016	57		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	518,420	581,629	112	479,240	82		
	事業費	750,000	3,300,000	440	3,300,000	100		
	合計	1,268,420	3,881,629	306	3,779,240	97		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金	375,000	1,500,000	400	1,500,000	100		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	893,420	2,381,629	267	2,279,240	96		
合計	1,268,420	3,881,629	306	3,779,240	97			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利用者数(延べ)							
指標説明(式)		定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの月末利用者数(延べ)							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		前年比	備考
人	目標	3	60	2000.0	50	83.3		0.0	
	実績	3	47	1566.7	42	89.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

【効率性】

指標名1		利用人数あたりの事業費コスト							
指標説明(式)		事業費÷月末利用者数(延べ)							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	250000	60000	24.0	72000	120.0			
	実績	250000	70212	28.1	78571	111.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	在宅生活を希望する重度化した高齢者を支えるサービスとしてニーズのあった「定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス」に、新規参入する事業所への人件費を補助している。	3
	成果の向上	ケアマネジャーや医療従事者向けに、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」の理解を深める研修会を実施した。	
効率性	負担割合の適正化	県の補助金制度に基づき、県1/2・市1/2の負担となっている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	今後、在宅生活を支援する要のサービスとなりうると考えられる。ケアマネジャー等の専門職にもサービスについて啓発していく。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	在宅生活を支援する要のサービスとして、ケアマネジャー等の専門職にもサービスについて啓発していく。

配点	32.5
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302020100		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	しあわせ基金事業		予算事業名	しあわせ基金事業	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室	
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	丸山 由紀子	担当者名 杉本 裕美
		取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市しあわせ基金条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅高齢者の福祉の向上					
	誰(何)を対象として	社会福祉協議会、ボランティア団体、高年クラブ連合会					
	意図(どのような状態にしたいのか)	社会福祉協議会、ボランティア団体、高年クラブ連合会の高齢者在宅福祉の向上事業に対して補助金を交付する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		社会福祉協議会、ボランティア協会及び高年クラブ連合会の実施する高齢者等送迎サービス、在宅介護者の会への支援事業等、在宅高齢者への支援事業に補助金を交付する。					
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績		
	リフトバス派遣回数	回	494	424	339		
	在宅介護者支援事業実施回数	回	22	21	19		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.112	0.120	107	0.240	200	
	臨時職員			-		-	
支出内訳	人件費	1,202,348	1,261,509	105	1,995,720	158	
	事業費	1,468,000	1,368,000	93	2,756,000	201	
	合計	2,670,348	2,629,509	98	4,751,720	181	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他	1,468,000	1,368,000	93	2,756,000	201	
	一般財源	1,202,348	1,261,509	105	1,995,720	158	
合計	2,670,348	2,629,509	98	4,751,720	181		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		活動実績						
指標説明(式)		リフトバス派遣回数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
回	目標	600	600	100.0	500	83.3	0.0	
	実績	494	424	85.8	339	80.0		
指標名2		活動実績						
指標説明(式)		在宅介護者支援事業回数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
回	目標	22	22	100.0	22	100.0		
	実績	22	21	95.5	19	90.5		

【効率性】

指標名1		活動実績の1件当たり補助金コスト(リフトバス)							
指標説明(式)		支出事業費÷リフトバス派遣回数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	2394	895	37.4	3850	430.2			
	実績	1326	1310	98.8	5828	444.9			

指標名2		活動実績の1件当たり補助金コスト(在宅介護者支援事業)							
指標説明(式)		支出事業費÷在宅介護者支援事業							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	7954	5954	74.9	5954	100.0			
	実績	5113	5357	104.8	4210	78.6			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	令和2年度新規に移送に係る車両を購入した。今後より有効に活用してもらえるよう事業の内容を拡充、見直しを行い市民サービスの向上に努める。	4
効率性	手段の最適性	基金の運用益が事業費の一部にあてられている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである	3

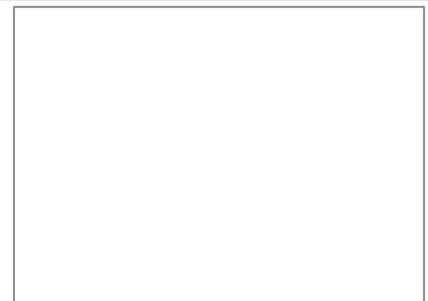
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	公共性	在宅介護者支援事業については、長年同じメンバーによる限られた人員で、内容についても例年同様の内容が続き事業の継続について見直す必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	公共性	基金事業を見直す会議等において、事業内容などを精査して、よりよい事業内容に基金を支出できるよう改善を図る。



配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302020400		事業の種類	1	
年度	2	事務事業名	高齢期移行者医療費助成事業		予算事業名	高齢期移行者医療費助成事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部市民課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	山田	担当者名	小林
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		高齢期移行助成事業					
根拠法規及び関連法規		福祉医療費等助成条例、福祉医療費等助成条例施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	高齢期移行者医療費助成対象者					
	誰(何)を対象として	高齢期移行者医療費助成対象者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	65歳から69歳の方で特別な配慮が必要な方が、病気やけがをして医療機関等を受診した場合に、医療保険における自己負担の一部を助成し、高齢期移行者の経済的負担の軽減を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		65歳から69歳の方で特別な配慮が必要な方の医療費の一部を助成する。(平成29年6月末に老人医療費助成事業を廃止し、平成29年7月に高齢期移行者医療費助成事業を新設。経過措置あり。)				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	助成費	円	10187662	6873187	4288816	
	現物給付額	円	9330685	6124996	3897501	
	平均受給者数	人	350	249	162	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.178	0.176	99	0.078	44	
	臨時職員	0.005	0.018	360	0.020	111	
支出内訳	人件費	1,706,837	1,721,249	101	954,035	55	
	事業費	10,187,662	6,873,187	67	4,288,816	62	
	合計	11,894,499	8,594,436	72	5,242,851	61	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金	2,499,020	1,986,062	79	1,278,132	64	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	9,395,479	6,608,374	70	3,964,719	60	
合計	11,894,499	8,594,436	72	5,242,851	61		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当たりの高齢期移行者医療費助成額						
指標説明(式)		助成費/平均受給者数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
円	目標	41304	35897	86.9	31342	87.3	0.0	
	実績	29108	27603	94.8	26474	95.9		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		1人当たりの現物給付額(変更した指標)							
指標説明(式)		現物給付額/平均受給者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	37545	33077	88.1	27931	84.4			
	実績	26659	24598	92.3	24059	97.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	65歳から69歳の方で特別な配慮が必要な方に対し、1人当たり26,474円の経済的負担の軽減を行うことができた。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	条例、規則に基づき、適切に受給資格及び負担区分の認定を行い、福祉医療費の支給を行った。	
効率性	手段の最適性	福祉医療費として一部負担金を超える額を支給対象者に代わり保険医療機関に支払うことによって、支給対象者の窓口負担を1人当たり24,059円軽減できた。	4
	執行体制の効率性	国保年金係において国民健康保険と連携した対応ができています。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	65歳から69歳の方で、特別な配慮が必要な方の疾病等について医療保険給付が行われた場合において、一部負担金を控除した額を支給している。(所得制限あり。)	4

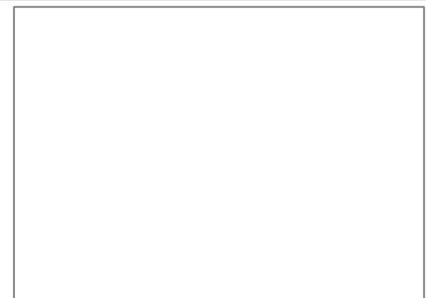
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	国民健康保険、その他の公費負担医療制度との連絡調整を確実に実施し、よりの確に事務を行う必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	係内・係外の連絡調整を確実に実施し、よりの確に事務を行うとともに、必要に応じて要領等を作成し、係員への周知徹底を図る。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302020500	事業の種類	4
年度	2	事務事業名	鍼灸マッサージ施療費助成事業	予算事業名	鍼灸マッサージ施療費助成事業
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	市民生活部市民課
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する	担当課長	山田
		取組み事項	介護予防などを推進する	実施計画への記載	無
				担当者名	小林
				主要事業の指定	無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		老人鍼灸・マッサージ等施療費助成規則			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内に住所を有する70歳以上(経過措置あり。令和2年度は67歳以上)の者			
	誰(何)を対象として	市内に住所を有する70歳以上(経過措置あり。令和2年度は67歳以上)の鍼灸等の施療を受けた者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	市内に住所を有する70歳以上(経過措置あり。令和2年度は67歳以上)の者が鍼灸等の施療を受ける場合に要する費用の一部を助成し、これらの者の福祉の増進を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		市内に住所を有する70歳以上(経過措置あり。令和2年度は67歳以上)の者が鍼灸等の施療を受ける場合に要する費用の一部を助成する。			
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績
	助成費	円	1724000	1448000	1754000
	助成回数	回	1724	1448	1754
	申請者数	人	323	324	281
	年度末対象者数	人	10000	9985	9589

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.016	0.009	56	0.008	89		
	臨時職員	0.005	0.015	300	0.016	107		
支出内訳	人件費	502,529	479,469	95	469,124	98		
	事業費	1,724,000	1,448,000	84	1,754,000	121		
	合計	2,226,529	1,927,469	87	2,223,124	115		
財源内訳	国庫支出金	852,509	954,679	112	871,688	91		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	1,374,020	972,790	71	1,351,436	139		
	合計	2,226,529	1,927,469	87	2,223,124	115		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		対象年齢人口に占める申請者数の割合						
指標説明(式)		申請者数/年度末対象者数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
%	目標	5.8	5.4	93.1	5.6	103.7		0.0
	実績	3.2	3.2	100.0	2.9	90.6		
指標名2		1人当たりの助成回数						
指標説明(式)		助成回数/申請者数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
回	目標	5.0	5.3	106.0	4.5	84.9		
	実績	5.3	4.5	84.9	6.2	137.8		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	利用券の交付を受けた者に対し、1人当たり年6.2回(6,000円程度)の経済的負担の軽減を行うことができた。	3
効率性	手段の最適性	相生市指定施術所利用券を申請者に交付して、施療者に助成金の額を支払うことにより、利用者の窓口負担を1人当たり6,000円程度軽減できた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	年齢要件の段階的な引き上げ、その周知を行うなど、計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	対象年齢人口に占める申請者数の割合は減少している。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	年齢要件の段階的な引き上げを行っているところであり、当分の間、計画通りに進める。

配点	32.5
総合評価	21.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302020600		事業の種類	1	
年度	2	事務事業名	高齢重度障害者医療費助成事業	予算事業名	高齢重度障害者医療費助成事業	優先度	3
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	市民生活部市民課		
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する	担当課長	山田	担当者名	小林
		取組み事項	介護予防などを推進する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
		実施計画事業名					
		根拠法規及び関連法規	高齢重度障害者医療費助成要綱				
事業の目的	誰のために(具体的に)	高齢重度障害者医療費助成対象者					
	誰(何)を対象として	高齢重度障害者医療費助成対象者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	後期高齢者医療制度の被保険者で重度障害者の方が、病気やけがをして医療機関等を受診した場合に、医療保険における自己負担の一部を助成し、これらの者の生活支援を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		後期高齢者医療制度の被保険者で重度障害者の方の医療費の一部を助成する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	助成費	円	26622235	28971177	26570344	
	現物給付額	円	25704243	28050662	25843453	
	平均受給者数	人	299	297	281	

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円	
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.149	0.132	89	0.206	156		
	臨時職員	0.006	0.018	300	0.054	300		
支出内訳	人件費	1,494,020	1,396,089	93	1,914,187	137		
	事業費	26,622,235	28,971,177	109	26,570,344	92		
	合計	28,116,255	30,367,266	108	28,484,531	94		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金	10,859,445	11,483,644	106	10,377,070	90		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	17,256,810	18,883,622	109	18,107,461	96		
	合計	28,116,255	30,367,266	108	28,484,531	94		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当たりの高齢重度障害者医療費助成額						
指標説明(式)		助成費/平均受給者数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
円	目標	89655	93548	104.3	96348	103.0		0.0
	実績	89038	97546	109.6	94556	96.9		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		1人当たりの現物給付額(変更した指標)							
指標説明(式)		現物給付額/平均受給者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	86956	90645	104.2	93284	102.9			
	実績	85967	94447	109.9	91970	97.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	経済的・社会的に弱い立場にある高齢重度障害者に対し、1人当たり94,556円の経済的負担の軽減を行うことができた。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	要綱に基づき、適切に受給資格及び負担区分の認定を行い、福祉医療費の支給を行った。	
効率性	手段の最適性	福祉医療費として一部負担金を超える額を支給対象者に代わり保険医療機関に支払うことによって、支給対象者の窓口負担を1人当たり91,970円軽減できた。	4
	執行体制の効率性	国保年金係において後期高齢者医療保険と連携した対応ができています。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	高齢重度障害者の疾病等について医療保険給付が行われた場合において、一部負担金を控除した額を支給している。(所得制限あり。)	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	障害要件等の確認を確実に実施し、よりの確に事務を行う必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	障害要件等の確認を確実に実施し、よりの確に事務を行うとともに、必要に応じて要領等を作成し、係員への周知徹底を図る。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302020900		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	老人短期入所運営事業		予算事業名	老人短期入所運営事業 優先度 3	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室	
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	丸山 由紀子	担当者名 藤田 達郎
		取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市老人短期入所事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅高齢者					
	誰(何)を対象として	身体的、社会的な理由で一時的に老人ホームでの援護が必要な高齢者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	生活習慣等の指導及び体調調整を行う					

2 事業の概要 Do

実施の概要		身体的、社会的な理由で一時的に老人ホームでの援護が必要な高齢者に生活習慣等の指導及び体調調整を行う。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	利用人数	人	3	1	2	
	短期入所日数	日	29	9	17	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.068	0.048	71	0.048	100	
	臨時職員			-		-	
支出内訳	人件費	875,252	729,429	83	695,880	95	
	事業費	140,516	57,726	41	160,390	278	
	合計	1,015,768	787,155	77	856,270	109	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他	19,030	6,930	36	26,110	377	
	一般財源	996,738	780,225	78	830,160	106	
合計	1,015,768	787,155	77	856,270	109		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利用人数						
指標説明(式)		利用人数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
人	目標	5	5	100.0	5	100.0	0.0	
	実績	3	1	33.3	2	200.0		
指標名2		短期入所日数						
指標説明(式)		短期入所日数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
日	目標	45	45	100.0	45	100.0		
	実績	29	9	31.0	17	188.9		

【効率性】

指標名1		1人あたりのコスト							
指標説明(式)		事業費/利用人数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	42600	42600	100.0	42600	100.0			
	実績	46838	57726	123.2	80195	138.9			

指標名2		1日当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費/短期入所日数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	4733	4733	100.0	4733	100.0			
	実績	4845	6414	132.4	9435	147.1			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	養護老人ホームの空床を利用してサービス提供する事業で、入所者の入院等例え一時的にせよ空床が生じない限り利用に結びつかない。	4
	成果の向上	虐待等やむを得ない場合など緊急度の高い高齢者の安全な場所の確保としても活用できる。	
効率性	手段の最適性	高齢者虐待における世帯においては、分離を図る手段が有効であり、措置者たる市が事業実施する必要がある。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである。	4

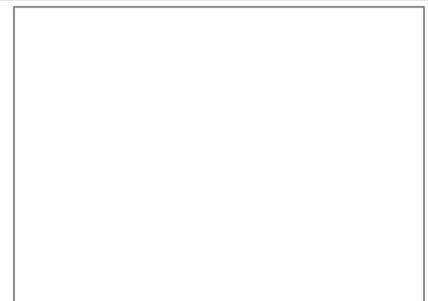
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	養護老人ホームとの情報共有などの連携の必要性

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	虐待案件など、緊急かつ慎重に対応が必要な場合が多いため、より密で正確な連携を図る。



配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021200		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	高齢者等住宅改造助成事業		予算事業名	高齢者等住宅改造助成事業 優先度 3	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室	
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	丸山 由紀子	担当者名 中本 光早子
		取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市高齢者等住宅改造助成事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	要介護者及び心身障害者					
	誰(何)を対象として	日常生活を営む上で支障がある高齢者及び心身障害者が居住する住宅					
	意図(どのような状態にしたいのか)	住宅改造により対象者が住み慣れた住宅で安心して自立した生活ができるようにする					

2 事業の概要 Do

実施の概要		日常生活に支障をきたしている高齢者等の住宅を改造する費用を、世帯の課税状況に応じて、改造対象経費の3/1から10/10の額を助成する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	助成件数	件	17	13	14	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.088	0.128	145	0.228	178	
	臨時職員			-		-	
支出内訳	人件費	1,023,932	1,320,629	129	1,914,480	145	
	事業費	3,128,259	4,443,559	142	3,623,000	82	
	合計	4,152,191	5,764,188	139	5,537,480	96	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金	1,559,000	2,213,000	142	1,806,000	82	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	2,593,191	3,551,188	137	3,731,480	105	
合計	4,152,191	5,764,188	139	5,537,480	96		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		助成件数						
指標説明(式)		助成件数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
件	目標	28	38	135.7	23	60.5		0.0
	実績	17	13	76.5	14	107.7		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		件数あたりの事業コスト							
指標説明(式)		総経費/利用件数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	259366	347516	134.0	355637	102.3			
	実績	244247	443399	181.5	258071	58.2			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	介護保険の住宅改修(限度額20万円)を超える工事が必要となるケースに支給され、段差解消等規模の大きい工事でも補助をうけることができる。	4
	市民サービス	身体状況に応じたバリアフリー改造を行うことで、在宅での生活を続けられる。	
効率性	コストの節減	工事内容により助成額は変化するが、現地調査時に専門家のアドバイスを受け、不要な工事は抑えられている。	4
	手段の最適性	県の補助制度に則って事業を実施している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	適切な給付がスムーズに行えるよう、体制整備に努める。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	適切な給付を行えるよう、点検体制を整える。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021300		事業の種類	4		
年度	2	事務事業名	高齢者在宅生活支援事業		予算事業名	高齢者在宅生活支援事業		
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	丸山 由紀子	担当者名	川戸 沙紀
		取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		・相生市訪問理・美容サービス事業実施要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅生活を望む高齢者						
	誰(何)を対象として	65歳以上のみの世帯・要介護2相当以上の者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する						

2 事業の概要 Do

実施の概要		年6回を限度に理・美容師に出張整髪してもらうための交通費を補助する					
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績		
	延べ利用回数(理・美容)	回	6	7	8		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.024	0.012	50	0.004	33	
	臨時職員			-		-	
支出内訳	人件費	548,156	463,389	85	398,000	86	
	事業費	24,000	26,000	108	28,000	108	
	合計	572,156	489,389	86	426,000	87	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	572,156	489,389	86	426,000	87	
合計	572,156	489,389	86	426,000	87		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		延べ利用回数の増減(訪問理・美容サービス)						
指標説明(式)		延べ利用回数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
回	目標	18	18	100.0	12	66.7	0.0	
	実績	6	7	116.7	8	114.3		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	備考	
回	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		1回あたりの事業コスト(訪問理・美容サービス)							
指標説明(式)		事業費+人件費/利用回数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	25198	30077	119.4	35621	118.4			
	実績	95359	69918	73.3	53250	76.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	利用者により利用回数は違うが、一定の数の利用はある。	3
	市民サービス	在宅生活を、支援している家族等の負担軽減、高齢者の心身のリフレッシュを図る上で必要である。	
効率性	手段の最適性	補助金は自宅訪問のための交通費相当額とし、理・美容サービス費は実費負担とすることとしている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	制度利用者が少ない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	広報誌、ケアマネジャーや民生委員を通してさらなる制度の周知を図る。

配点	32.5
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021400		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	アイアイコール事業		予算事業名	アイアイコール事業	
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	丸山 由紀子	担当者名	川戸 沙紀	
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市アイアイコール事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	緊急時に119番通報が困難又は著しく時間のかかる高齢者					
	誰(何)を対象として	緊急性の高い疾病を有する一人暮らし高齢者や、日常生活動作に支障を来している重度身体障害者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	緊急時の生活不安を解消し、安心した在宅生活が送れるようにする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		ひとり暮らしの高齢者等に、家庭内で緊急事態が発生した場合、ボタンひとつで受信センターへ連絡ができ、速やかに対象者の援護を図ることができる緊急通報機器の貸与を行う。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	年度末時の設置台数	台	148	119	107	
	緊急通報回数	回	9	21	9	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.132	0.060	45	0.132	220	
	臨時職員			-		-	
支出内訳	人件費	1,351,028	818,109	61	1,264,560	155	
	事業費	2,751,624	2,429,594	88	2,057,715	85	
	合計	4,102,652	3,247,703	79	3,322,275	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他	2,751,624	2,429,594	88	2,057,715	85	
	一般財源	1,351,028	818,109	61	1,264,560	155	
合計	4,102,652	3,247,703	79	3,322,275	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		設置台数(年度末時)						
指標説明(式)		設置台数(年度末時)						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
台	目標	235	160	68.1	145	90.6		0.0
	実績	148	119	80.4	107	89.9		
指標名2		緊急通報回数						
指標説明(式)		緊急通報回数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
回	目標	25	10	40.0	10	100.0		
	実績	9	21	233.3	9	42.9		

【効率性】

指標名1		利用者1件当たりの事業コスト							
指標説明(式)		事業費(人件費除く)/設置台数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	16217	20163	124.3	19103	94.7			
	実績	18592	20417	109.8	19231	94.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	委託事業者と市が情報法を共有するため、利用者の状況を把握しやすい。	4
	期待する目標	救急車による搬送につながった点において、緊急通報の手段として機能している。	
効率性	負担割合の適正化	市民税課税世帯には、設置費用の自己負担あり。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	補助員のなり手が不足している。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	地域で支え合う大切さを普及させ、補助員になることへの拒否感を軽減させる。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021500		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	お元気コール事業		予算事業名	お元気コール事業	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室	
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	丸山 由紀子	
		取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	
					担当者名	川戸 沙紀	
					主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	75歳以上の一人暮らし高齢者					
	誰(何)を対象として	安否の確認を希望する75歳以上の一人暮らし高齢者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	定期的な電話を用いた安否確認により、一人暮らし生活の安心を得る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		週1回、ひとり暮らしの高齢者宅に委託業者のオペレーターが電話をし、対象者の安否確認を図る。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	利用人数	人	34	25	23	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.180	0.088	49	0.072	82		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	1,707,860	1,025,029	60	858,360	84		
	事業費	404,357	305,890	76	244,510	80		
	合計	2,112,217	1,330,919	63	1,102,870	83		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他	404,357	305,890	76	244,510	80		
	一般財源	1,707,860	1,025,029	60	858,360	84		
	合計	2,112,217	1,330,919	63	1,102,870	83		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		新規利用申込者						
指標説明(式)		新規利用申込者						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
%	目標	0	0	-	0	-	-	
	実績	0	0	-	0	-		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		利用者一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費(人件費除く)／利用者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	12500	13823	110.6	11733	84.9			
	実績	11893	12236	102.9	10631	86.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	電話回線が有ればサービスが利用できるため、効率的で簡単に利用できる。	3
	成果の向上	当事業が利用者の相談・雑談相手として機能している例もあるため、事務的な安否確認以上の成果があるといえる。	
効率性	手段の最適性	週1回で多数の利用者安否確認ができ、電話回線を活用する事が効率的である。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね必要な方に浸透しており計画どおり	3

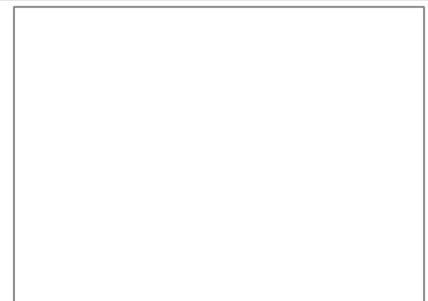
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	週に一度と頻度が高いため、状況の変化に関する連絡が遅れると事業に支障をきたす恐れがある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	地域でのつながりを強化するため、事業委託を地縁団体へ円滑に移行できるよう調整を行う。



配点	32.5
総合評価	19.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021600		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	ひとり暮らし老人名簿事業		予算事業名	優先度	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室	
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	丸山 由紀子	担当者名
		取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定
						無	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		老人福祉法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市・民生委員					
	誰(何)を対象として	65歳以上の一人暮らし高齢者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	実態調査により65歳以上の一人暮らし高齢者名簿を作成する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		民生委員の協力の下、年2回定期的に現地調査を行い、対象者情報のほか緊急時の連絡先を聴き取り調査し、ひとり暮らしの高齢者名簿を作成する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	ひとり暮らし高齢者数(年度末)	人	1670	1622	1633	

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円			
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.172	0.132	77	0.048	36		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	1,648,388	1,350,189	82	695,880	52		
	事業費			-		-		
	合計	1,648,388	1,350,189	82	695,880	52		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	1,648,388	1,350,189	82	695,880	52		
	合計	1,648,388	1,350,189	82	695,880	52		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ひとり暮らし高齢者数(年度末)						
指標説明(式)		ひとり暮らし高齢者数(年度末)						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
人	目標	1650	1700	103.0	1650	97.1		
	実績	1670	1622	97.1	1633	100.7		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		名簿一人当たりの作成にかかる経費							
指標説明(式)		人件費/一人暮らし高齢者数(年度末)							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	1035	1177	113.7	430	36.5			
	実績	987	832	84.3	423	50.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	民生児童委員の協力による戸別訪問調査のため、名簿の正確性は高く、事業目的の達成度は高い。	4
	市民サービス	安否確認はじめ必要な方へ必要なサービスを行うことができ、市民サービスの向上に役立っている。	
効率性	コストの節減	民生児童委員の個別訪問によって作成しているため、事務的経費としてのコストは発生しない。	4
	手段の最適性	地域を知る民生児童委員の戸別訪問調査によって作成しているため、名簿の正確性は高く、最適の手段である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	民生児童委員の訪問を拒否される高齢者もあり、すべてのひとり暮らし高齢者の把握することは困難である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	気になる高齢者は、在宅介護支援センターや社会福祉協議会の専門職と連携し、必要な支援や見守りへ繋げるよう努める。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021800		事業の種類	1	
年度	2	事務事業名	老人保護措置事業		予算事業名	老人保護措置事業	
		優先度	3				
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室	
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	丸山 由紀子	
		取組み事項	介護予防などを推進する		担当者名	藤田 達郎	
			実施計画への記載		無	主要事業の指定	
			無				
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		老人福祉法、相生市老人ホーム入所措置等規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	老人ホームへの入所が必要な者					
	誰(何)を対象として	おおむね65歳以上で、環境上の理由及び経済的な理由により居宅において生活するのが困難な者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	心身の健康の保持及び生活の安定					

2 事業の概要 Do

実施の概要		おおむね65歳以上で、環境上の理由及び経済的な理由により居宅において生活するのが困難な者を措置し、生活の安定を図る。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	年度末入所者数	人	43	34	35	
	虐待対応に伴う措置入所者数	人	1	2	1	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.232	0.212	91	0.234	110	
	臨時職員			-		-	
支出内訳	人件費	2,094,428	1,941,389	93	1,955,100	101	
	事業費	79,234,528	72,053,908	91	65,947,584	92	
	合計	81,328,956	73,995,297	91	67,902,684	92	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他	15,091,504	12,954,715	86	11,938,871	92	
	一般財源	66,237,452	61,040,582	92	55,963,813	92	
合計	81,328,956	73,995,297	91	67,902,684	92		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		入所人数						
指標説明(式)		入所人数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
人	目標	40	45	112.5	40	88.9	0.0	
	実績	43	34	79.1	35	102.9		
指標名2		虐待対応に伴う措置入所者数						
指標説明(式)		虐待対応に伴う措置入所者数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
人	目標	1	1	100.0	1	100.0		
	実績	1	2	200.0	1	50.0		

【効率性】

指標名1		人数あたりのコスト							
指標説明(式)		事業費/(入所人数)							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標	2240100	2066000	92.2	2100975	101.7			
	実績	1842663	2119232	115.0	1884216	88.9			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	居宅において生活するのが困難な者を保護する事業で、セーフティーネットとして必要。	5
	関係(根拠)法令から見た効果	居宅において生活するのが困難な者を措置し、心身の健康回復、生活の安定を図ることで、老人福祉法の保護措置の実現を図っている。	
効率性	手段の最適性	法第11条及び国県の技術的助言等により、適切な措置を行っている。	4
	執行体制の効率性	施設の空き情報を適宜把握するとともに、包括支援センター等関係機関と連携し、対象者の発見と速やかな保護措置ができる体制づくりを図っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	問題点が多い入所者への対応。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	関係機関、ケアマネジャーなどと協力関係、情報共有などを密にし、円滑かつ安全に在宅から施設につなぐことが出来るように取り組む。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021900		事業の種類	1	
年度	2	事務事業名	老人福祉施設等利用者負担額減免措置事業	予算事業名	老人福祉施設等利用者負担額減免措置事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	丸山 由紀子	担当者名	片山 誠之
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		介護保険法、社会福祉法人等による利用者負担減免措置事業実施要綱、社会福祉法人等による生活困窮者に対する介護保健サービスに係る利用者負担額減免措置事業補助金					
事業の目的	誰のために(具体的に)	社会福祉法人等が提供する介護保険の施設サービス等(特別養護老人ホーム・デイサービス・ショートステイ・ホームヘルプ)を利用している者の内、低所得で生計困難な者					
	誰(何)を対象として	生計困難な低所得者を対象に利用者負担額の軽減を実施している社会福祉法人等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	利用者負担額軽減実施の社会福祉法人等への助成により、施設サービス等を利用する高齢者の生活の安定と必要とする介護サービスの適正な実施を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		対象者へ利用者負担軽減確認証を交付し、それを基に社会福祉法人が行った介護サービス費減額に対する補助金交付を行う。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	減額認定証交付件数	人	3	3	0	
	減額認定証利用件数	人	3	3	0	
	施設への補助金額	円	77731	32251	0	

3 投入資源

		会計区分			一般会計		事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考		
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103			
	参事以下職員	0.056	0.144	257	0.244	169			
	臨時職員			-		-			
支出内訳	人件費	786,044	1,438,869	183	2,022,800	141			
	事業費	77,731	32,251	41	0	0			
	合計	863,775	1,471,120	170	2,022,800	138			
財源内訳	国庫支出金			-		-			
	県支出金	58,000	24,000	41	0	0			
	市債			-		-			
	その他			-		-			
	一般財源	805,775	1,447,120	180	2,022,800	140			
合計	863,775	1,471,120	170	2,022,800	138				

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当たり減免総額						
指標説明(式)		減免に対する補助金額/補助対象減免認定利用者件数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
円	目標	131000	84000	64.1	84000	100.0	0.0	
	実績	25910	10750	41.5	0	0.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		一人当たり事業経費							
指標説明(式)		事業費÷減額認定証交付件数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	131000	84000	64.1	84000	100.0			
	実績	25910	10750	41.5	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	社会福祉法人等による利用者負担減免措置事業の実施により、低所得者が介護保険サービスを利用しやすい環境づくりに有効である。	4
	成果目標(改善)達成度	負担軽減によって低所得者の施設入所等が行いやすくなるよう事業を実施しているが、利用者実績は低い。	
効率性	負担割合の適正化	県の補助制度に則り実施しており、市の補助額の3/4相当額について県の補助金がある。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	3

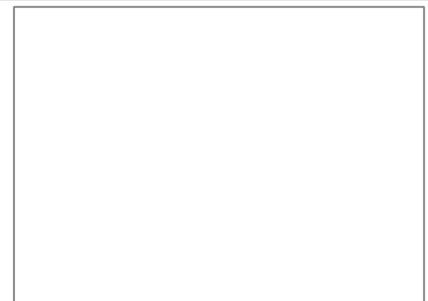
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	公共性	社会福祉法人の積極的な制度への貢献体制が必要。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	市内の社会福祉法人及びケアマネジャーへのさらなる制度の周知に努める。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302022000		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	救急医療情報キット配付事業		予算事業名	優先度	
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	丸山 由紀子	担当者名	川戸 沙紀	
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市救急医療情報キット配付事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	健康上不安を有する者					
	誰(何)を対象として	①65歳以上の者②障害者手帳を所持する者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	救急搬送時に役立つ情報(既往症・服用している薬剤情報・血液型・かかりつけ医・親族等の連絡先)を入れたキットを保管し、もしものときの安全・安心を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		救急時に速やかな救急処置を図ることが出来るよう救急隊員及び搬送先病院に医療情報を伝えるためのキットを配付する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	配付件数	件	77	61	93	

3 投入資源

インプット指標		会計区分			事業費単位:円			備考
		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.016	0.024	150	0.004	17		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	488,684	552,069	113	398,000	72		
	事業費			-		-		
	合計	488,684	552,069	113	398,000	72		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	488,684	552,069	113	398,000	72		
合計	488,684	552,069	113	398,000	72			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		配布件数						
指標説明(式)		配布件数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
件	目標	100	100	100.0	100	100.0		0.0
	実績	77	61	79.2	93	152.5		
指標名2		救急搬送時のキットの活用回数						
指標説明(式)		救急搬送時のキットの活用回数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
回	目標	5	5	100.0	5	100.0		
	実績	1	3	300.0	4	133.3		

【効率性】

指標名1		救急医療情報キットの配布率							
指標説明(式)		配布件数の累計/4500(作成数)							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
%	目標	49.8	52.0	104.4	52.0	100.0			
	実績	49.3	49.3	100.0	49.3	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	救急搬送の際、キットを活用した事例があり、高齢者の健康維持に役立っている。	4
	成果の向上	サービス内容が浸透したため、利用者が増加した。	
効率性	コストの節減	キットは数年間分をまとめて作成することで、単価の軽減を図っている。	4
	手段の最適性	キット1個当たりの経費は少なく、少ない経費で大きな安心安全の効果を図っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りにいっている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	キットの中に記している情報が更新されておらず、緊急時に機能しない例がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	利用者に情報を更新してもらうよう、広報誌や民生委員を通じて呼びかける。

配点	32.5
総合評価	22.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302022100		事業の種類	1	
年度	2	事務事業名	高齢者保健福祉計画等策定に関すること		予算事業名		
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室	
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	丸山 由紀子	
		取組み事項	介護予防などを推進する		担当者名	中村 美香	
				実施計画への記載	有		
				主要事業の指定			
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		老人福祉法、介護保険法 ↑事務事業名「高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定に関すること」へ変更					
事業の目的	誰のために(具体的に)	職員・市民					
	誰(何)を対象として	職員・市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生市の高齢者保健福祉及び介護保険に関する計画を策定し、高齢者保健福祉施策の充実を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		高齢者保健福祉及び介護保険に関する計画を3年ごとに策定し、施策の充実を図る。			
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績
	計画策定	件	0	0	1

3 投入資源

		会計区分						事業費単位:円	
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比			
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103			
	参事以下職員	0.180	0.160	89	0.230	144			
	臨時職員			-		-			
支出内訳	人件費	1,707,860	1,557,109	91	1,928,020	124			
	事業費			-		-			
	合計	1,707,860	1,557,109	91	1,928,020	124			
財源内訳	国庫支出金			-		-			
	県支出金			-		-			
	市債			-		-			
	その他			-		-			
	一般財源	1,707,860	1,557,109	91	1,928,020	124			
合計		1,707,860	1,557,109	91	1,928,020	124			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		数値での評価困難						
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	老人福祉法及び介護保険法に基づく必要な計画策定となっている。	3
効率性	執行体制の効率性	令和2年度に高齢者保健福祉計画を策定した。令和3年度から令和5年度までの事業を計画に基づき遂行している。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	計画に関する定期的な進捗管理が必要。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	計画の重点項目(地域で支えあつた仕組みづくりの推進、介護予防・日常生活支援総合事業の推進、認知症対策の推進、介護給付適正化)等を関係機関で共通認識を持ち取り組む。

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302022700		事業の種類	1	
年度	2	事務事業名	健康大学講座事業		予算事業名		
まちづくり目標	健康大学講座事業		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部子育て元気課	
施策名(中)	高年齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史	担当者名	藤本 理恵	
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	介護保険法令、介護予防事業の円滑な実施を図るための指針、地域支援事業実施要領						
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の一般高齢者					
	誰(何)を対象として	65歳以上の一般高齢者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	健康に関する意識の高揚を図り、要介護、要支援状態となることを予防するとともに、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		高齢者を対象に医学の専門医を講師に招き、健康(介護予防を含む)に関する講座を相生市医師会と共催で開催。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	回数	回	10	10	0	
	人数	人	2283	2291	0	

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円			
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.080	0.088	110	0.020	23		
	臨時職員	0.040	0.040	100		0		
支出内訳	人件費	1,075,220	1,127,029	105	506,320	45		
	事業費	400,000		0		-		
	合計	1,475,220	1,127,029	76	506,320	45		
財源内訳	国庫支出金	100,000	100,000	100	0	0		
	県支出金	50,000	50,000	100	0	0		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	1,325,220	977,029	74	506,320	52		
合計	1,475,220	1,127,029	76	506,320	45			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		延べ参加者の増減						
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
人	目標	2300	2300	100.0	0	0.0		-
	実績	2283	2291	100.4	0	0.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		1人当たり事業費							
指標説明(式)		事業費/参加者							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	648	640	98.8	0	0.0			
	実績	647	491	75.9	0	0.0			
指標名2		事業費の負担単価							
指標説明(式)		100,000円/回							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
人	目標	100000	100000	100.0	0	0.0			
	実績	100000	100000	100.0	0	0.0			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	新型コロナウイルス感染症により開催中止	3
	市民サービス		
効率性	手段の最適性	新型コロナウイルス感染症により開催中止	3
	コストの節減		
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	新型コロナウイルス感染症により開催中止	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	新型コロナウイルス感染症により開催中止

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	新型コロナウイルス感染症により開催中止

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302023200		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	配食サービス事業		予算事業名	配食サービス事業	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室	
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	丸山 由紀子	担当者名 川戸 沙紀
		取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市配食サービス事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	弁当の宅配と安否確認を必要とする高齢者					
	誰(何)を対象として	市民税非課税世帯に属する食事の準備がしにくい65歳以上の者及び重度障害者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	栄養バランスのとれた食生活が営めるように					

2 事業の概要 Do

実施の概要		見守りと栄養改善を目的に、委託業者による食事の宅配を行うとともに、対象者に対し、月20食を限度に1食あたり200円の助成券を支給する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	延べ利用食数	食	21551	21606	21893	

3 投入資源

		会計区分	介護保険特別会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.204	0.128	63	0.227	177		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	1,886,276	1,320,629	70	1,907,710	144		
	事業費	4,386,200	4,442,264	101	4,491,240	101		
	合計	6,272,476	5,762,893	92	6,398,950	111		
財源内訳	国庫支出金	1,688,687	1,710,271	101	1,729,127	101		38.50%
	県支出金	844,343	855,135	101	864,564	101		19.25%
	市債			-		-		
	その他	1,008,826	1,021,720	101	1,032,985	101		23.00%
	一般財源	2,730,620	2,175,767	80	2,772,274	127		
	合計	6,272,476	5,762,893	92	6,398,950	111		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		延べ利用食数						
指標説明(式)		延べ利用食数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
食	目標	28575	26460	92.6	22980	86.8	0.0	
	実績	21551	21606	100.3	21893	101.3		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

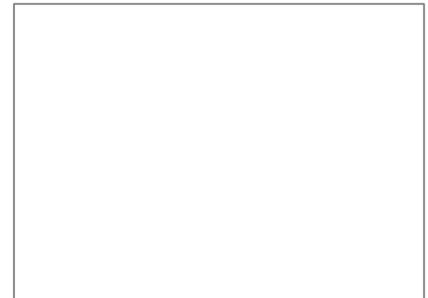
指標名1		利用1回あたりの事業コスト							
指標説明(式)		総事業費／延べ利用回数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	256.7	275.8	107.4	282.5	102.4			
	実績	291.0	266.7	91.6	292.2	109.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	上位施策への貢献度	在宅生活が維持されることによって、住み慣れた地域での高齢者の生活継続が、当市にとって施設整備を抑制し保険料の軽減が図られる。	3
効率性	手段の最適性	親族による家事援助等を促すため、月20食を限度にサービスを提供しているが、手助けが得られない場合を考慮すると、月20食の限度の見直しの検討は必要。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	利用者の安否確認ができないときの事業者との連携方法。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	民生委員やケアマネジャーと連携し、確実に配食サービスが受けられるよう調整していく。

配点	32.5
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302023300		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	認知症高齢者サポート事業		予算事業名	認知症高齢者サポート事業 優先度 3	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室	
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	丸山 由紀子	担当者名 中本 光早子
		取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		「認知症サポーター等養成事業の実施について」(平成18年7月12日老計発第0712001号厚生労働省)					
事業の目的	誰のために(具体的に)	認知症を患った方及びその家族					
	誰(何)を対象として	市民及び市内事業所・学校に通勤されている方					
	意図(どのような状態にしたいのか)	身近な地域で認知症の方を発見しケアできる社会環境を整備し、認知症を患っても本人および家族が安心して生活できるようにする					

2 事業の概要 Do

実施の概要		キャラバンメイト養成研修を受講した講師により、地域住民・職場・学校・団体等を対象に認知症サポーター養成講座を開催する。また、フォローアップ講座を年1回開催する。					
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績		
	認サポ開催回数	回	34	21	6		
	認サポ延べ受講者数	人	846	685	82		

3 投入資源

		会計区分	介護保険特別会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.316	0.352	111	0.277	79		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	2,718,884	2,975,989	109	2,246,210	75		
	事業費	361,615	288,335	80	125,164	43		
	合計	3,080,499	3,264,324	106	2,371,374	73		
財源内訳	国庫支出金	139,222	111,009	80	48,188	43		
	県支出金	69,611	55,504	80	24,094	43		
	市債			-		-		
	その他	83,171	66,317	80	28,787	43		
	一般財源	2,788,495	3,031,494	109	2,270,305	75		
	合計	3,080,499	3,264,324	106	2,371,374	73		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		開催回数の増減							
指標説明(式)		認知症サポーター養成講座開催回数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		前年比	備考
	目標	30	30	100.0	30	100.0		0.0	
	実績	34	21	61.8	6	28.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

【効率性】

指標名1		受講者数の増減							
指標説明(式)		延べ受講者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標	700	700	100.0	700	100.0			
	実績	846	685	81.0	82	12.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	認知症についての正しい知識を普及するとともに、サポーターが増える事で認知症の方やその家族の暮らしやすい環境が整備できる。	4
効率性	コストの節減	講師を務めるキャラバン・メイトは無報酬であり、低コストで認知症サポーターの養成ができています。	4
	執行体制の効率性	講師役をつとめるキャラバン・メイトについても、近隣や県の研修に受講案内し、メイトの数も増えている。認知症サポーター養成と合わせキャラバンメイトの養成は不可欠。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	現在の状況に対応した養成講座の開催方法を考える必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	受講方法の多様化を考える必要がある。

配点	32.5
総合評価	22.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302023400		事業の種類	1	
年度	2	事務事業名	後期高齢者医療保険事業		予算事業名	後期高齢者医療保険事業ほか 優先度 3	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部市民課	
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	山田	担当者名 小林
		取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		高齢者の医療の確保に関する法律、兵庫県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例、相生市後期高齢者医療に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	後期高齢者医療制度被保険者					
	誰(何)を対象として	後期高齢者医療制度被保険者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	被保険者証等の引渡し、医療給付に関する申請及び届出の受付等を適切に処理し、後期高齢者が安心して医療を受けることができ、安心して生活ができるようにする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		後期高齢者医療制度被保険者の資格の管理に関する申請及び届出の受付、被保険者証等の引渡し、被保険者証等の返還の受付、医療給付に関する申請及び届出の受付並びに証明書の引渡し、保険料に関する申請の受付等				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	諸受付件数	件	3194	3147	2662	

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円	
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	2.188	1.916	88	2.187	114		
	臨時職員	0.100	0.326	326	0.494	152		
支出内訳	人件費	16,912,232	15,365,249	91	16,536,758	108		
	事業費	984,890,872	1,040,282,408	106	1,088,441,073	105		
	合計	1,001,803,104	1,055,647,657	105	1,104,977,831	105		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金	73,286,526	76,049,604	104	82,574,412	109		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	928,516,578	979,598,053	106	1,022,403,419	104		
	合計	1,001,803,104	1,055,647,657	105	1,104,977,831	105		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	後期高齢者医療制度被保険者の医療給付に関する申請及び届出の受付等を、2,662件適切に処理した。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	兵庫県後期高齢者医療広域連合条例、規則等に基づき、被保険者証等の引渡し、医療給付に関する申請及び届出の受付等を適切に処理した。	
効率性	手段の最適性	兵庫県後期高齢者医療広域連合規約に定められた事務を、広域連合が策定した事務要領に基づき処理している。	5
	執行体制の効率性	国保年金係において、国民健康保険、高齢重度障害者医療費助成事業と連携した対応ができています。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	兵庫県後期高齢者医療広域連合規約に定められた事務を処理している。(独自事業なし。)	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	国民健康保険、高齢重度障害者医療費助成事業との連絡調整を確実に実施し、よりの確に事務を行う必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	国民健康保険等との連絡調整を確実に実施し、よりの確に事務を行うとともに、必要に応じて要領等を作成し、係員への周知徹底を図る。

配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302023500		事業の種類	1	
年度	2	事務事業名	介護予防推進講座事業		予算事業名		
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部子育て元気課	
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	三浦 貴史	担当者名 川部 純平
		取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		介護保険法、介護予防・日常生活支援総合事業ガイドライン					
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の方(介護保険の要支援・要介護認定者を除く)					
	誰(何)を対象として	65歳以上の方(介護保険の要支援・要介護認定者を除く)					
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護予防活動に関心を持ち、自ら健康の維持増進を実践することで健康寿命の延伸を図ることができる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		栄養士・歯科衛生士が地域における通いの場等に出向き、フレイル予防に関する講話を1回あたり概ね30～40分実施する。実施回数は年間30か所、3年間(R1～R3)で90か所実施予定とする。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	開催回数	回	15	56	20	
	実参加者数	人	62	509	241	
	延べ参加者数	人	264	779	247	

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.060	0.132	220	0.200	152	
	臨時職員			-		-	
支出内訳	人件費	815,780	1,350,189	166	1,724,920	128	
	事業費	263,574		0		-	
	合計	1,079,354	1,350,189	125	1,724,920	128	
財源内訳	国庫支出金	269,839	337,548	125		0	
	県支出金	134,920	168,774	125		0	
	市債			-		-	
	その他	539,677	675,095	125		0	
	一般財源	134,918	168,772	125	1,724,920	1,022	
	合計	1,079,354	1,350,189	125	1,724,920	128	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		事業参加者数						
指標説明(式)		事業参加者の延べ人数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
人	目標	300	300	100.0	780	260.0	44.9	
	実績	264	779	295.1	241	30.9		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		教室1回当たりの事業コスト							
指標説明(式)		総事業費÷開催回数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	78383	0	0.0	33314	-			
	実績	89947	24111	26.8	86246	357.7			
指標名2		教室1回当たりの参加者数							
指標説明(式)		延べ参加者数÷開催回数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
人	目標	20	0	0.0	14.0	-			
	実績	17.6	14.0	79.5	12.0	85.7			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	新型コロナウイルス感染症の影響か、フレイル講座を希望するグループが前年度より減少。また事業の一部が他事業に移行したため参加人数が減少したと考えられる。感染予防を徹底し、フレイルの普及・啓発に取り組む必要がある。	3
	関係(根拠)法令から見た効果	介護予防の視点に即した実施内容である。	
効率性	手段の最適性	既存の通いの場等を活用して実施することで、毎回一定数の参加者が確保され、より多くの方に介護予防に関する普及啓発が行えた。しかし今年度から事業の一部が他事業に移行したため、参加回数が減少し効率性が低下した形になった。	4
	執行体制の効率性	年度を通して事業の目標実施回数が達成できるよう、講座に出向く医療専門職と各通いの場代表及び関係団体との連携をはかり、日程調整等行うことができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね順調にすすんでいる。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	新型コロナウイルス感染症の影響で、希望するグループが減少した。また事業の一部が他事業に移行したため参加人数が減少した。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	今後は、コロナによるフレイルの説明を含め内容や周知方法の検討が必要。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302023600		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	高齢者見守り事業		予算事業名	高齢者見守り事業	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室	
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	丸山 由紀子	担当者名 中本 光早子
		取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	認知症を含む高齢者					
	誰(何)を対象として	市民及び市内事業所で勤務されている方					
	意図(どのような状態にしたいのか)	身近な地域で認知症を含む高齢者を地域で見守りし、安心して地域で生活できるようにする					

2 事業の概要 Do

実施の概要		認知症の人を含めた高齢者の事前登録、日頃の見守り、緊急時(搜索)の見守りを目的として「見守りSOSネットワーク」の構築を推進する。また、介護者に対し徘徊高齢者等家族支援サービス(GPSの初期費用の補助)を実施する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	事前登録者	人	26	28	20	
	協力機関登録	団体	0	9	8	
	行方不明者搜索依頼	件	0	1	0	

3 投入資源

		会計区分 介護保険特別会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.288	0.268	93	0.148	55	
	臨時職員			-		-	
支出内訳	人件費	2,510,732	2,355,229	94	1,372,880	58	
	事業費	60,399	60,937	101	60,438	99	
	合計	2,571,131	2,416,166	94	1,433,318	59	
財源内訳	国庫支出金	23,253	23,461	101	23,268	99	
	県支出金	11,627	11,730	101	11,634	99	
	市債			-		-	
	その他	13,892	14,016	101	13,900	99	
	一般財源	2,522,359	2,366,959	94	1,384,516	58	
	合計	2,571,131	2,416,166	94	1,433,318	59	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		事前登録者の増減						
指標説明(式)		あんしん見守り事業(事前登録者)の登録者数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
人	目標	20	20	100.0	20	100.0	0.0	
	実績	26	28	107.7	20	71.4		
指標名2		徘徊高齢者等家族支援サービス利用者						
指標説明(式)		徘徊高齢者等家族支援サービスの新規登録者数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
団体	目標	6	6	100.0	6	100.0		
	実績	4	5	125.0	4	80.0		

【効率性】

指標名1		事前登録者の割合							
指標説明(式)		事前登録者／高齢者人口							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標	0.00192	0.00193	100.5	0.00195	101.0			
	実績	0.00250	0.00270	108.0	0.00194	71.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	身近な地域で認知症を含む高齢者を地域で見守りし、安心して地域で生活できるようにする。	4
	成果の向上	地域で見守り声かけ訓練を実施し、SOSネットワークの普及啓発、認知症の人を地域で見守る体制づくりに努めた。	
効率性	コストの節減	事前登録者に配布する「見守りグッズ」は、平成27年予算で一括購入することにより、経費削減を図った。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	新規の協力機関獲得のため、事業の周知に努める必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	継続して見守り声掛け訓練の実施。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302023900		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	介護予防・生活支援サービス事業		予算事業名	介護予防・生活支援サービス事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	丸山 由紀子	担当者名	杉本 裕美
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	居宅要支援被保険者・事業対象者					
	誰(何)を対象として	居宅要支援被保険者・事業対象者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	要支援・要介護状態になることをできるだけ予防し、高齢者自身の力を活かした自立に向けた支援をする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		居宅要支援被保険者及び事業対象者が高齢者自身の力を活かした自立に向けた支援をすることを目的に、訪問型サービス・通所サービスを行う。					
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績		
	事業対象者数	人	181	151	130		
	サービス件数(訪問型+通所型)	件	4207	3996	3657		
	事業費(訪問型・通所型・ケアマネジメント)	円	84342427	82649224	76282650		

3 投入資源

		会計区分	介護保険特別会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.306	0.272	89	0.220	81		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	2,644,544	2,384,789	90	1,860,320	78		
	事業費	73,699,327	72,965,304	99	68,117,445	93		
	合計	76,343,871	75,350,093	99	69,977,765	93		
財源内訳	国庫支出金	18,424,831	18,241,326	99	17,029,361	93		
	県支出金	9,212,415	9,120,663	99	8,514,680	93		
	市債			-		-		
	その他	36,849,663	36,482,652	99	34,058,722	93		
	一般財源	11,856,962	11,505,452	97	10,375,002	90		
	合計	76,343,871	75,350,093	99	69,977,765	93		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		事業対象者数							
指標説明(式)		事業対象者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		前年比	備考
人	目標	125	250	200.0	180	72.0		0.0	
	実績	181	151	83.4	130	86.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

【効率性】

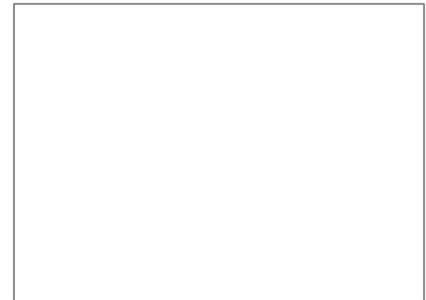
指標名1		1件あたりの事業費							
指標説明(式)		事業費(訪問型+通所型+ケアマネジメント)/実績件数(訪問型+通所型)							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	18000	20553	114.2	21023	102.3			
	実績	20048	20682	103.2	20859	100.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	高齢者が日常生活において不便が生じても自宅での生活を継続するために有効なサービスである。	4
効率性	コストの節減	地域支援事業実施要綱(国)を基に、内容及び基本単位の設定を行い、旧介護予防訪問介護・介護予防通所介護に比べ、約2~3割低額とした。	4
	手段の最適性	住民主体のサービスの実施を進めることで、総合事業の充実を図る。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	新規で立ち上がった住民主体訪問サービスの運営支援。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	住民主体サービスの広報、実施団体との連携の強化を図る。(定期的な連絡調整、運営に関する相談など)

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302024000		事業の種類	1	
年度	2	事務事業名	介護予防把握事業		予算事業名	介護予防把握事業 優先度 3	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室	
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	丸山 由紀子	担当者名 中村 美香
		取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	有	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		介護保険法第115条の45第1項第2号					
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の者とその家族					
	誰(何)を対象として	心身の状況及びその家族等の状況等の実態を把握を実施した高齢者等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	生活機能の低下が確認され、何らかの支援が必要と認められるときは、介護予防活動への参加勧奨を行う					

2 事業の概要 Do

実施の概要		地域包括支援センターへ委託し、65歳以上の人の自宅を訪問し、心身の状況及びその家族等の状況等の実態を把握するとともに、介護ニーズ等の評価を行い、生活機能の低下が確認され、支援が必要と認められるときは、介護予防活動への参加勧奨を行う。					
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績		
	実態把握訪問	名	173	179	104		

3 投入資源

		会計区分	介護保険特別会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.024	0.052	217	0.040	77		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	548,156	758,989	138	641,720	85		
	事業費	3,000,000	3,000,000	100	3,000,000	100		
	合計	3,548,156	3,758,989	106	3,641,720	97		
財源内訳	国庫支出金	750,000	750,000	100	750,000	100		
	県支出金	375,000	375,000	100	375,000	100		
	市債			-		-		
	その他	1,500,000	1,500,000	100	1,500,000	100		
	一般財源	923,156	1,133,989	123	1,016,720	90		
	合計	3,548,156	3,758,989	106	3,641,720	97		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		実態把握者数						
指標説明(式)		担当地区である旭地区の高齢者を実態把握する為訪問した人数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
人	目標	150	150	100.0	150	100.0	0.0	
	実績	173	179	103.5	104	58.1		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		訪問対象者1件あたりの委託料							
指標説明(式)		事業費÷実態把握者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	20000	20000	100.0	20000	100.0			
	実績	17341	16759	96.6	28846	172.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	80歳到達者や80歳以上高齢者のみ世帯等を抽出し訪問することで、生活機能の低下などがみられ、何らかの支援が必要な高齢者に早期に対応できている。	4
効率性	手段の最適性	包括職員が訪問することで、安易に介護サービス等に繋げず、地域のサロンやいきいき百歳体操等の住民主体の通いの場への紹介に努めている。	3
	コストの節減	包括職員の訪問は中央小学校区を担当しており、他の地域は4か所の在宅介護支援センターへ委託している。包括は在介の取りまとめも行っており、在介委託料よりは、コストが高くなっている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	早い段階から支援につなげる必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	個別の訪問だけでなく、住民主体の自主グループへの訪問を実施していく。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302024100		事業の種類	9	
年度	2	事務事業名	一般介護予防事業評価事業		予算事業名		
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室	
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長		
		取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定
						無	
実施計画事業名		一般介護予防事業評価事業					
根拠法規及び関連法規		地域支援事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の者とその家族					
	誰(何)を対象として	66歳以上の者とその家族					
	意図(どのような状態にしたいのか)	一般介護予防事業を含め、地域づくりの観点から総合事業全体を評価し、その評価結果に基づき事業全体の改善を目的とする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護保険事業計画の評価を行う上で、必要な項目を適切に選定し、地域の実情を把握するための調査を実施し、調査結果に基づいて評価を行い、計画の見直しを行う。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査配布数	件	-	2295		
	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査回収数	件	-	1934		

3 投入資源

		会計区分					事業費単位:円	
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員		0.080	-		0		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	369,740	965,909	261	370,920	38		
	事業費		2,398,000	-		0		
	合計	369,740	3,363,909	910	370,920	11		
財源内訳	国庫支出金		599,500	-		0		
	県支出金		299,750	-		0		
	市債			-		-		
	その他		1,199,000	-		0		
	一般財源	369,740	1,265,659	342	370,920	29		
合計		369,740	3,363,909	910	370,920	11		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		調査回収数						
指標説明(式)		介護予防・日常生活圏域ニーズ調査のアンケート回収数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
件	目標	-	2000	-	-	-	-	
	実績	-	1934	-	0.0			
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		調査1件あたりの委託料							
指標説明(式)		事業費÷アンケート回収数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標	-	1200	-	-	-			
	実績	-	1239	-		0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	老人福祉法及び介護保険法に基づく計画作成にかかるニーズ調査を行うものである。	
効率性	執行体制の効率性	前回調査時に期間が短く十分な分析が行えなかったため、計画策定前年度である令和元年度に計画を策定するべく、ニーズ調査をおこなった。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗	

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302024400	事業の種類	
年度	2	事務事業名	高齢者保健事業・介護予防等一体的事業	予算事業名	高齢者保健事業・介護予防等一体的事業
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	健康福祉部子育て元気課
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する	担当課長	三浦 貴史
		取組み事項	介護予防などを推進する	実施計画への記載	無
				担当者名	藤本 理恵
				主要事業の指定	無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		高齢者の医療の確保に関する法律第125条			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内に居住する後期高齢者(75歳以上)			
	誰(何)を対象として	市内に居住する後期高齢者(75歳以上)			
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者自らが健康増進・介護予防に取り組むことで、健康寿命の延伸を図ることができる			

2 事業の概要 Do

実施の概要		フレイルのハイリスク状態にある者に訪問等による個別指導を実施すると共に、通いの場等に医療専門職が出向き、ポピュレーションアプローチとして健康教育や健康相談を実施する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	ハイリスク支援人数	人	-	-	95	
	ポピュレーション参加人数	人	-	-	624	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.030	-		
	参事以下職員			-	0.448	-		
	臨時職員			-	0.256	-		
支出内訳	人件費			-	4,108,579	-		
	事業費			-	394,741	-		
	合計			-	4,503,320	-		
財源内訳	国庫支出金			-	3,002,213	-		
	県支出金			-	1,501,107	-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源			-	0	-		
	合計			-	4,503,320	-		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		フレイルハイリスク者支援割合(%)						
指標説明(式)		支援実施者÷対象者						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
%	目標	-	-	-	70.0	-	100.0	
	実績	-	-	-	60.5	-		
指標名2		通いの場への参加者数						
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
人	目標	-	-	-	700	-		
	実績	-	-	-	624	-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	新型コロナウイルス感染症の影響により、目標としていた数値には達していないが、実施できた分については、フレイル予防に関する知識の普及啓発を図ることができた。	3
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	新型コロナウイルス感染症の影響により、計画していた数値には至らず。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	指導した内容について、市民に継続して取り組んでいただく必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	使用する媒体や内容等を検討していく。

配点	32.5
総合評価	12

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302040100		事業の種類	1	
年度	2	事務事業名	地域包括支援センター運営事業		予算事業名	包括的支援事業	
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	丸山 由紀子	担当者名	片山 誠之	
取組み事項	在宅福祉の窓口を充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	相生市地域包括支援センター運営要綱、在宅介護支援センター運営事業実施要綱、生活支援コーディネーター設置要綱等						
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅の65歳以上の高齢者とその家族等					
	誰(何)を対象として	高齢者が要介護状態となることを予防し、社会に参加しつつ、地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域における包括的な相談及び支援体制、多様な主体の参画による日常生活の支援体制、在宅医療と介護の連携体制及び認知症高齢者への支援体制の構築等を一体的に推進。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	相生市医師会へ委託し、地域包括支援センターの運営、社会保障充実分(認知症・地域ケア会議・在宅医療介護連携等)事業を実施。包括のプランとして市内4か所に在宅介護支援センターを設置。生活支援事業の推進のため、生活支援コーディネーターを配置。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績
	包括各種相談件数	件	11036	10687	10258
	介護予防(マネジメント)プラン作成	件	5276	5231	5208
	在介実態把握数	人	1074	859	754
生活支援コーディネーター	人	5	5	5	

3 投入資源

		会計区分	介護保険特別会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.418	0.472	113	0.592	125		
	臨時職員			-	0.474	-		
支出内訳	人件費	3,477,152	3,862,789	111	5,683,554	147		
	事業費	56,766,968	55,317,091	97	53,865,766	97		
	合計	60,244,120	59,179,880	98	59,549,320	101		
財源内訳	国庫支出金	21,855,282	21,297,080	97	20,738,319	97		38.50%
	県支出金	10,927,641	10,648,540	97	10,369,159	97		19.25%
	市債			-		-		
	その他	13,056,402	12,722,930	97	12,389,126	97		23%
	一般財源	14,404,795	14,511,330	101	16,052,716	111		
合計	60,244,120	59,179,880	98	59,549,320	101			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		活動実績						
指標説明(式)		総合相談支援業務件数+権利擁護業務件数+包括的継続的ケアマネジメント件数+介護予防事業ケアマネジメント+予防給付ケアマネジメント件数+在宅医療介護連携件数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
件	目標	11500	11000	95.7	11000	100.0		0.0
	実績	11036	10687	96.8	10258	96.0		
指標名2		関係機関との会議・各種事業への参加・研修等の参加						
指標説明(式)		市・包括・在介・生活支援コーディネーター等の打合せや会議への参加回数。講師派遣、研修参加回数。						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
回	目標	780	780	100.0	780	100.0		
	実績	787	726	92.2	655	90.2		

【効率性】

指標名1		高齢者1人当たりの包括支援センター委託料							
指標説明(式)		地域包括支援センター委託料÷65歳以上高齢者数 (43,000,000÷10,284)							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	4000	4000	100.0	4000	100.0			
	実績	4426	4297	97.1	4181	97.3			
指標名2		在介実態把握の1件当たり委託料コスト							
指標説明(式)		在宅介護支援センター委託料÷実態把握訪問件数 (6,000,000÷754)							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	7500	6000	80.0	6000	100.0			
	実績	5586	6984	125.0	7957	113.9			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	在宅介護支援センターや生活支援コーディネーターまた地域住民との連携強化が必要となる。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	高齢者の総合相談機関として、また住み慣れた地域で生活継続を図るための介護予防機関として、在宅高齢者及びその家族の福祉増進が図られている。	
効率性	執行体制の効率性	個別課題については、高齢者からの相談を包括的に受けることで、各高齢者の情報の集約化と効率的な在宅サービスの提供が図られている。	2
	手段の最適性	新しい取り組みである社会保障充実分については、包括内だけでなくあらゆる関係機関との連携強化が必要となるが、包括内部の連携や情報伝達がうまくいっていない。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである。	3

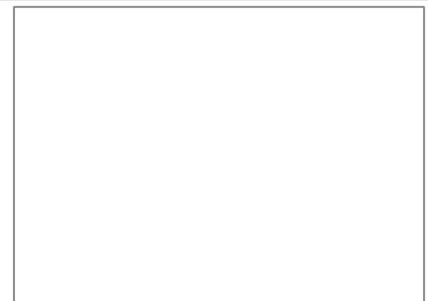
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	社会保障充実分については、重点目標と年間スケジュールをたてることで、ある程度進んできたが、包括の職員間での連携や情報共有に課題がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	三者(包括・在介・SC)連携強化のため、三者による住民主体の集いの場への訪問を実施。



配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302040200		事業の種類	1	
年度	2	事務事業名	市民後見推進事業		予算事業名	市民後見推進事業 優先度 3	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室	
		施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	丸山 由紀子 担当者名 中本 光早子	
		取組み事項	在宅福祉の窓口を充実する		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		老人福祉法第32条の2					
事業の目的	誰のために(具体的に)	判断能力が不十分となった高齢者等及び家族					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者等が安心して暮らせるよう、後見制度の浸透を図るとともに、市民後見人推進体制の確立を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		判断能力が不十分となった高齢者等が安心して暮らせるよう、後見制度の浸透を図るとともに、市民後見人推進体制の確立を図る。			
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績
	成年後見支援センターとの連絡会の開催回数	回	8	6	6
	市民後見人養成人数	人	1	0	0

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.120	0.148	123	0.088	59	
	臨時職員			-		-	
支出内訳	人件費	1,261,820	1,468,429	116	966,680	66	
	事業費	1,221,535	1,480,487	121	1,437,340	97	
	合計	2,483,355	2,948,916	119	2,404,020	82	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金	867,000	1,060,000	122	1,044,000	98	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	1,616,355	1,888,916	117	1,360,020	72	
合計	2,483,355	2,948,916	119	2,404,020	82		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		西播磨成年後見支援センターとの連絡会の開催回数						
指標説明(式)		西播磨成年後見支援センターとの連絡会の開催回数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
回	目標	6	8	133.3	6	75.0	0.0	
	実績	8	6	75.0	6	100.0		
指標名2		専門職による成年後見相談会の実施回数						
指標説明(式)		専門職による成年後見相談会の実施回数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
回	目標	1	2	200.0	1	50.0		
	実績	1	2	200.0	2	100.0		

【効率性】

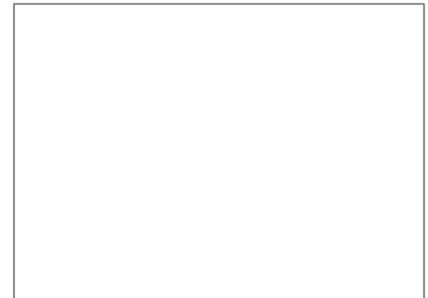
指標名1		事業費に対する市の負担割合							
指標説明(式)		事業費に対する市の負担割合							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	4.2	28.5	678.6	28.5	100.0			
	実績	29.0	28.4	97.9	27.4	96.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	市民への後見制度及び市民後見人に対する普及啓発を図り、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを図る。	3
	組織運営・適正管理	西播磨成年後見支援センターとの連絡会を定期的に開催し、センターの適正な運営、有効な活用に努めた。	
効率性	執行体制の効率性	西播磨成年後見支援センターが設立されたことにより、専門職や他市町との連携がしやすくなり、より高度な相談に対応できる環境ができた。	3
	コストの節減	西播磨成年後見支援センターと協力することで、市だけでは開催が難しい市民後見人養成研修や講演会を毎年安定的に実施できるようになった。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	市民後見人養成講座の周知方法について考える必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	養成した市民後見人の活躍の場の検討や周知に努める必要がある。

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020303010100		事業の種類	9	
年度	2	事務事業名	介護給付費準備基金積立金		予算事業名	介護保険事業	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室	
		施策名(中)	その他		担当課長	丸山 由紀子	担当者名 中村 美香
		取組み事項	その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市介護給付費準備基金条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	介護給付事務を円滑に進めるため					
	誰(何)を対象として	介護給付事務を円滑に進めるため					
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護給付事務を円滑に進めるため					

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護給付費準備基金利子及び前年度繰越分の積立				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	積立金	円	44650432	38802968	40524672	

3 投入資源

		会計区分	介護保険特別会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.028	0.028	100	0.032	114		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	577,892	581,629	101	587,560	101		
	事業費	44,650,432	38,802,968	87	40,524,672	104		
	合計	45,228,324	39,384,597	87	41,112,232	104		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他	44,650,432	38,802,968	87	40,524,672	104		
	一般財源	577,892	581,629	101	587,560	101		
	合計	45,228,324	39,384,597	87	41,112,232	104		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020303010300		事業の種類	9	
年度	2	事務事業名	償還金	予算事業名	介護保険事業		優先度
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室	
		施策名(中)	その他		担当課長	丸山 由紀子	
		取組み事項	その他		担当者名	中村 美香	
				実施計画への記載	無		主要事業の指定
					無		
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	国・県					
	誰(何)を対象として	国・県への返還金					
	意図(どのような状態にしたいのか)	事業精算後、国・県から補助金返還の要請があった場合に返還する業務					

2 事業の概要 Do

実施の概要		事業精算後、国・県から補助金返還の要請があった場合に返還する業務				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	社会保険診療報酬支払基金償還金	円	0	1437500	0	
	国庫負担金償還金	円	15497821	12634517	6165056	
	県費負担金償還金	円	0	8254887	2477691	

3 投入資源

		会計区分	介護保険特別会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.036	0.036	100	0.056	156		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	637,364	640,749	101	750,040	117		
	事業費	15,497,821	22,326,904	144	9,287,928	42		
	合計	16,135,185	22,967,653	142	10,037,968	44		
財源内訳	国庫支出金	15,497,821	12,634,517	82	6,165,056	49		
	県支出金	0	8,254,887	-	2,477,691	30		
	市債	0	0	-		-		
	その他	0	1,437,500	-		0		
	一般財源	637,364	640,749	101	1,395,221	218		
	合計	16,135,185	22,967,653	142	10,037,968	44		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020303010400		事業の種類	9	
年度	2	事務事業名	予備費	予算事業名	介護保険事業	優先度	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
		施策名(中)	その他	担当課長	丸山 由紀子	担当者名	中村 美香
		取組み事項	その他	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
		実施計画事業名					
		根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	介護保険事業					
	誰(何)を対象として	介護保険事業の円滑化					
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護保険事業の不測の事態に備えるため					

2 事業の概要 Do

実施の概要	介護保険事業の不測の事態に備えるため				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績

3 投入資源

		会計区分	介護保険特別会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員			-		-		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	369,740	374,709	101	370,920	99		
	事業費	0	0	-	0	-		
	合計	369,740	374,709	101	370,920	99		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	369,740	374,709	101	370,920	99		
	合計	369,740	374,709	101	370,920	99		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020303010500		事業の種類	9	
年度	2	事務事業名	予備費	予算事業名	予備費	優先度	
		まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	市民生活部市民課		
		施策名(中)	その他	担当課長	山田	担当者名	小林
		取組み事項	その他	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
		実施計画事業名					
		根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	後期高齢者医療保険特別会計					
	誰(何)を対象として	後期高齢者医療保険特別会計					
	意図(どのような状態にしたいのか)	予算外の支出又は予算超過の支出に充てるため予備費を計上し、後期高齢者医療保険特別会計の安定的な運営を確保する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	予算外の支出又は予算超過の支出に充てるため予備費を計上する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績
	予備費	円	0	0	0

3 投入資源

		会計区分	後期高齢者特別会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員		0.000	-		-		
	臨時職員		0.000	-		-		
支出内訳	人件費	369,740	374,709	101	370,920	99		
	事業費	0	0	-	0	-		
	合計	369,740	374,709	101	370,920	99		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	369,740	374,709	101	370,920	99		
合計	369,740	374,709	101	370,920	99			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	0